

商 況

(日本製鐵販賣月報第2~3號抜萃)

目 次

- 昭和14年7~8月鐵鋼關係日誌
- 海外鐵鋼事情
- 鐵鋼配給統制規則の改正
- 鐵鋼配給證明書返還團體に關する規定の一部變更

- 棒鋼、形鋼、鋼板の新建値實施について
- 仲鐵品の販賣値段について
- 日鐵指定河岸の一部改正
- 東京、大阪鐵鋼市況

昭和14年7、8月鐵鋼關係日誌

- 1日 昭和12年7月を100とする全國主要24市平均の本年6月分勞働者生計費指數は119.0で事變前昭和12年7月に比し2割9分の増、前年同月より9分2厘の増、前月に比し4厘の低落であつて7ヶ月振りの低落であつた。又給料生活者生計費指數は117.9で前月より4厘の低落であつた。
- 3日 關東軍司令部發表 軍は南部ホロンバイルに於ける暗雲を一掃せんがため6月上旬以來哈爾哈河地區に於て越境積極的行動を反復し我を窺窺跳梁せる外蒙ソ軍に對し之を擊滅すべく2日來滿洲國軍と協力し攻撃を開始せり。
- 4日 棒鋼、形鋼共販開催、大體次の事項の決定を見た。
1. 需要家に賣渡すべき形鋼最終値段については棒鋼新販賣値段の186圓に準じ、中山ベース191圓とする事に決定した。
 2. 棒鋼、形鋼の組合員より日本鋼材販賣會社へ賣渡す値段については現行共販建値より一率に7圓引の次記單價にて假仕切し、期末に合理的に精算をなす事に決定した。尙今回賣出分より販賣會社にて取扱はしむる事とした。
丸鋼ベース 168圓 形鋼ベース 173圓
 3. 9、10月積販賣については販賣希望數量を日本鋼材販賣會社に引渡し、其引受割當については常務理事會と販賣會社と協議決定する事とした。
但各組合員より販賣會社に引渡す仕切値段以外の條件については具體的方法決定迄假に從來通りの方法に依る事とした。
- 日本鋼材聯合會は常務委員會開催、次の事項を決定した。
1. 販賣會社をして實施せしむる新建値に關しては次の通り。棒鋼186圓、形鋼191圓、鋼板・切板220圓、定尺215圓
 2. 販賣會社への賣渡値段については販賣會社の營業を急速に開始せしむる必要があるので一應現在共販組合建値より各品種共一率に7圓引で販賣會社に假仕切をなし後は期末精算することとなつた。
- 5日 半製品共販鋼塊部理事會開催、8、9月積販賣値段は据置と決定した。尙共販に於ては今後一層鋼塊の配給統制を更に強化する爲に各需要家につき鋼塊所要量を調査しそれに基づいて合理的配給をなす事に決定し至急此調査資料を蒐集して次回理事會に於て協議する事となつた。

- 普通鋼質の鍛工用鋼塊値段は6月27日の常務理事會に於て歴延用鋼塊と同一扱とする事に決定せる旨報告があつた。尙中間鋼々質のものは前回理事會にて決定通り半製品共販第2部の値段並にエキストラを適用する事とした。
- 關東軍司令部は昨4日の國境戰に於ける我が航空部隊の戰果を次の如く發表した。
擊墜の確實なるもの16型45機、イ15型1機、SB機7機計53機。擊墜稍確實なるものイ16型5機、SB機10機、計15機。我が損害は輕微にして負傷3名。全部無事歸還せり
- 關東軍司令部發表 哈爾哈河岸地區に越境侵入せる外蒙ソ軍に對する日滿軍地上部隊の攻撃は有利に進展し逐次敵を哈爾哈河に歴迫擊滅しつつあり。
- 6日 線材共販理事會開催、線材新販賣値段並に仕切値段については、(1)實需家に賣渡すべき線材最終値段は次回に審議すること。(2)組合員が日本鋼材販賣會社に賣渡す値段については現行共販建値より一率に一應適當7圓引の普通線材5.5mm 178圓にて假仕切し期末に合理的に精算することと決定した。
8、9月積販賣値段は据置と決定した。
- 薄板共販理事會では9月積分賣出値段は据置と發表した。
- 7日 帶鋼共販理事會では8、9月積販賣値段は据置と發表した。
○鍼力板共販理事會では8月積建値は据置と發表す。
○支那事變勃發以來滿2年間7月5日現在までの綜合戰果(支那及滿蒙國境を含む戰果)は擊墜672機、地上擊破196機、總計868機である。之に對し我方の損害は90機である
- 8日 國家總動員法第4條に基く國民徵用令公布され15日より施行される事となつた。
- 10日 汪兆銘は從來蔣介石に對し日本との和平を勸告し續け來つた態度を一擲し蔣介石と絶縁して有志の士を團結して中國復興東亞復興の爲の新活動に入るべく聲明をした。
- 11日 關東軍司令部發表 軍は哈爾哈河右岸に越境挑戰しつつありし外蒙ソ軍に對し7月2日來の攻撃により徹底的打撃を與へ之を國境線外に擊攘せり。
- 12日 來る9月2日より1日迄南ドイツ=ユールンベルヒに於て開催される第11回ナチス黨大會に寺内陸軍大將、大角海軍大將が出張を命ぜられた。
- 15日 午前9時有田外相は官邸にクレギー駐日英大使の來訪を求め、全然餘人を避け日英東京會談を開始した。帝國は英國

が東亞新秩序の建設に協力し今回會談の實を擧ぐるやう要望した。

18日 鋼板共販理事會にて協議決定を見たる事項は次の通である

1. 組合員より日本鋼材販賣會社への仕切値段については現行建値より一率に7圓引にて假仕切となす事となつた但し定尺及耳付については市場向品(現在の販賣數量定尺 4,000t, 耳付 6,000t) のみに限る事。

| | 切板 | 定尺 | 耳付 |
|-----------|------|------|------|
| 現行共販建値 | 220圓 | 205圓 | 175圓 |
| 仕切値段(7圓引) | 213圓 | 198圓 | 168圓 |

註文製作品振當の定尺, 耳付は切板より逆算して從來通りの格差を附し仕切る事, 即ち仕切値段は次の通である。

| | 基準値段 | 仕切値段(7圓引) |
|-----------|------|-----------|
| 註文製作品振當定尺 | 215圓 | 208圓 |
| 同 耳付 | 185圓 | 178圓 |

2. 組合員より日本鋼材販賣會社への契約條件

- (1) 基本的契約條件は去る6月14日の棒, 形, 板, 線材の各共販聯合總括的契約條項に因る。
- (2) 代金支拂, 受渡等に關する具體的契約條件は從來組合員と指定販賣人との契約せる條件に依る。但し別の條件の定ある場合はそれに依る。

3. 販賣値段に關する件(需要家入手値段ベース)

| 切板 | 220圓 | 定尺 | 215圓 |
|-------------------------|------|----|------|
| 疵板, 端板を材料とせるもの總て同値段のこと。 | | | |

4. 配給業者の口錢

| | | |
|----|-----|------------------------|
| 切板 | 新問屋 | 3圓 |
| 定尺 | 舊問屋 | 8圓 特約店 13圓(舊問屋口錢共計21圓) |
| 耳付 | 新問屋 | 2圓 シーヤ 8圓(新問屋口錢共計10圓) |

但此の定尺 耳付は市場向品のみに限ること

註文製作品の場合は切板, 定尺共に口錢3圓とし, 切断依頼のためシーヤに耳付を供給する場合の口錢は耳付1tに付2圓とす。

5. 販賣會社より配給業者への仕切値段(定尺, 耳付は市場向品のみ)

| | | |
|----|-----|---------------|
| 切板 | 新問屋 | 217圓 |
| 定尺 | 舊問屋 | 207圓 特約店 194圓 |
| 耳付 | 新問屋 | 175圓 |

註文製作品の場合は定尺, 耳付共に切板並板とし新問屋への仕切値段は次記の通り

| | | | |
|----|------|----|------|
| 定尺 | 213圓 | 耳付 | 183圓 |
|----|------|----|------|

6. 配給業者の取扱分野(從來通り)

新問屋, 註文, 製作品, 舊問屋 6mm 以下の市場向定尺
シーヤ 6mm 以上の市場向耳付。

7. シーヤ業者より舊問屋及特約店への補足配給は從來通りとしシーヤ業者の仕切値段は次の通り

切板は實需家入手値段の4圓引
定尺は實需家入手値段の1圓50錢引。

8. 市場向耳付及定尺の販賣比率に關する件

- (1) メーカーの比率は原則として生産割當比率に據る。
- (2) シーヤの比率は從來通り(但し從來の102.56%のものを百分比に訂正す) 尙疵物端板に關しては別に定む。

- (3) 問屋の比率

從來の合計比 103.07%, 新持約店となりたる問屋比率 13.78%, 差引 89.29% (特約店となりたる問屋比率 13.78% を殘全問屋に按分分配し100%に換算せるものを新全體比率とす。

9. 日本鋼材販賣會社の事務開始については註文製作品8月1日市場向品, 8,9月積よりと決定した。

19日 17日に開催される豫定であつた日英第2次會談は本日に延期され, 第1次會談に引續き問題の核心に觸れて討議が行はれたが未だ意見の一致を見るに至らなかつた。

20日 最近漸落の一途をたどつてゐる法幣は本日に至り遂に對英5片, 對米9弗4分3のオフィシャルレートを示した。

21日 半製品共販8月積販賣値段は据置と決定した。

○日英會談はクレギー英大使の讓歩により一般問題に關する兩國の原則的諒解が成立した。

22日 第4次日英會談では次記の如き, 覺書を確認し調印を了した。「英國政府は大規模なる戰鬪行爲の行はれてゐる支那に於ける現實の事態を確認し且此事態が存續する限り支那に於ける日本軍がその安全を確保し, 且治安を維持するため特殊の要求を有することを認め又日本軍を害し, 又支那側を利するが如き行爲を排除するの要あることを認識す。英國政府は日本軍が如上の目的を達成するに當り, これが妨害となるべき一切の行爲及び措置を排除し, 且在支英國官憲及び英國國民にこれを明示し此政策を確認せしむべし。」

24日 22日調印を了した覺書により日英會談は本日より東京に於ける現地交渉が開催される事となつた。

25日 6月の全國生計費指數(大正3年7月基準)は前月より0.3%高の217.5を示した。尙昭和12年7月を基準とする東京市7月中勞働者生計費指數は119.8で前月より1分4厘高, 給料生活者生計費指數は118.1で前月に比し1分4厘高であつた。

26日 米國國務省は1911年締結の日米通商航海條約を廢棄する旨發表した。

27日 商工省は省令第40號を以て製鐵設備制限規則を公布し, 小規模製鐵設備の新設及増設に付き許可制を執り鐵屑及鐵鋼資材の需給の不均衡を調整する事となつた。

28日 日獨貿易協定の假調印を終る。我が國として從來に例を見ざる計畫經濟的性質を帯びた劃期的のものである。

○天津租界問題を背景とする日英圓卓會議は治安問題については順調なる進捗を豫想されてゐたが我方英國租界内に有る現銀4,800萬元の引渡しの要求に對し意見の對立を見るに至た。

7月中爲替相場

| 月日 | 區分 | | 月日 | 區分 | |
|------|--------------------|------------------|-------|--------------------|------------------|
| | 對米 | 對英 | | 對米 | 對英 |
| 7. 1 | 27- $\frac{1}{4}$ | $\frac{1}{2}$ -0 | 7. 17 | 27- $\frac{5}{16}$ | $\frac{1}{2}$ -0 |
| | " | " | 18 | " | " |
| 3 | " | " | 19 | 27- $\frac{1}{4}$ | " |
| 4 | " | " | 20 | 27- $\frac{5}{16}$ | " |
| 5 | " | " | 21 | " | " |
| 6 | " | " | 22 | " | " |
| 7 | " | " | 24 | " | " |
| 8 | 27- $\frac{5}{16}$ | " | 25 | " | " |
| 10 | 27- $\frac{1}{4}$ | " | 26 | " | " |
| 11 | " | " | 27 | 27- $\frac{1}{4}$ | " |
| 12 | " | " | 28 | " | " |
| 13 | 27- $\frac{5}{16}$ | " | 29 | " | " |
| 14 | " | " | 31 | " | " |
| 15 | " | " | | | |

○去る7月26日日本鋼材聯合會常務委員會に於て8月1日より實施する新建値及販賣會社をして實施せしむる新建値の實施方法について次の通り決定した。

- (1) 8月1日以後の販賣は凡て新建値新制度に依ること
- (2) 實需家との既契約品に付ては契約値段が新建値を超過せるものに付ては新建値に引下げて產品の引渡をなすこと。
- (3) 共販組合と配給店との契約品に付ては兩者間にて別途妥當なる協定をなすこと(別掲「棒鋼、形鋼、鋼板の新建値實施について」参照)

鋼管の販賣統制については此際至急に聯合會の統制下に鋼管統制販賣會社の設立をなす事を決議し鋼管共販組合に於て細目を審議の上次回常務委員會に提案する事と決定した

- 1日 日本鋼材販賣會社は同社賣出の棒鋼、形鋼、鋼板の指定河岸實需家渡値段を改訂し本日より實施することとした。
- 伸鐵品についても指定商及特約店の7月31日迄に購入した在庫品(上記のものは9月1日より新建値とす)を除き日本鋼材販賣會社よりの新建値に據る事となつた。
- 2日 商工省は省令第41號を以て鐵鋼配給統制規則を改正し半製品をも他の一般鋼材と同じく統制する事とし10日より實施する事となつた。(別掲「鐵鋼配給統制規則の改正」参照)
- 目下暗礁に乗上げてゐる日英會談に關し我方は經濟問題を治安問題と切離さうとする英國の提案には應じ難しと回答をなした。
- 4日 米國の1級屑鐵はピツツパーク消費者渡15弗50仙~16弗25仙, 輸出向紐育船渡12弗~12弗50仙, レール屑輸出向ボストン貨車乗渡14弗~14弗25仙, 何れも前週より保合
- 7日 今週の米國製鋼作業率は全能力の60.1%と見積られ前週に比べて0.8%方の増加を示した。U.S.スチール株は49弗8分の5。
- 8日 日本鋼材常務委員會開催 次の諸項を審議決定した。
鋼管販賣會社の創立については大綱方針を決定し商工省と打合せた上鋼材聯合會、共販組合と連絡をとり創立事務の進捗を計る事となつた。尙聯合會は日本鋼材販賣會社に於けると同趣旨により鋼管販賣會社の株主となる事となつた
8月1日より實施される事となつた伸鐵品の販賣統制について日本鋼材販賣會社の買取値段は未だ決定に至らないが伸鐵に對しては材料の供給並に販賣價格を適正に定め出来る丈伸鐵製品價格を製鋼會社と一致せしむる方針を可とするの意見があつた。
日本鋼材販賣會社専務取締役谷田友治氏は聯合會の常務委員となつた。鉞力、薄板、帶鋼の統制販賣會社創立に關しては稻山常務委員を主査として立案の上、常務委員會に提案せしむることとなつた。
- 棒鋼、形鋼共販理事會開催 8月より實施の新建値に關して指定問屋への既契約値段は變更せず其儘とする事となつた
東京シャリング株式會社の形鋼共販への新規加入を承認した
10、11月積販賣値段は据置と決定した。
- ドイツ鐵鋼協會發表、6月中のドイツ銑鐵生産高は1,677,000t(前月1,167,000t), 鋼生産高は2,105,000t(前月2,070,000t)
- 9日 鋼板共販理事會では新建値實施に當り第1シヤヤ及指定問屋への既契約品に就ては値段を變更せず其儘とする事と打

合せられた。

○半製品共販鋼塊部理事會は9、10月積販賣値段は前月通り据置と決定した。

10日 薄板共販では理事會を開催 10月積賣出値段は据置と決定す。

○商工省及日本鋼材販賣會社の指示に基き日本鋼材販賣株式會社の棒鋼、形鋼、鋼板の指定問屋(新舊共)を以て配給統制の徹底と配給の圓滑とを期する目的にて東京、大阪、名古屋、八幡各地區の鋼材配給會が設立された。

○線材共販理事會で決定せし事項は次の通りである。
販賣機構に關して

- (1) 從來の販賣系統を尊重して販賣すること。
- (2) 從來線材を取扱ひたる指定商及指定問屋は全部線材扱店とし之を一階層とす。而して當分暫定的便法として一部の線材扱店に對しては他の線材扱店を介して契約し得ることとし直接契約をなす扱店は三井物産、三菱商事、岩井商店、安宅商會、日商、日本鋼材、淺野物産、山本商會の8店とす。
- (3) 線材扱店の口錢は一率に内口錢とし(イ)普通線材適當2圓、(ロ)特殊線材3圓、(ハ)右の(2)の場合の仲介口錢は適當1圓とした。
- (4) 取扱比率は當分の間制定せず。

今月賣出の分より日本鋼材販賣會社をして取扱はしむる事とし實需家への販賣値段は各種鋼材建値表参照の事、共販組合員より會社への買取値段は此販賣値段より一率に適當7圓引を以て假仕切の事とした。

11日 帶鋼共販理事會では圓ブロック(北支、中支、南支)向輸出帶鋼取扱に關し問屋は興亞院の發行した割當證明書を以て帶鋼を買入れ、之を内地に於て加工し輸出するものとし帶鋼其儘の輸出を取扱はざる事との方針を決定し之を通達した。

9、10月積販賣値段は据置と決定した。

○鉞力板共販理事會は9月積ブリキ販賣値段は前月通り据置と發表した。

12日 天津に於ける舊法幣爲替相場は上海の崩落に拘らず日英會談の停頓を一材料として冷靜状態を示してゐたが、本日遂に2片16分の13、對米5弗2分の1と前日より夫々16分の1、8分1弗安を示し先行は弱含みである。

17日 商工省は定例省議に於て釘、針金の生産制限は之を全部撤廢し、事變前同様の生産量に還元し今後需要激増の場合には増産する事に方針を決定す。

17日 半製品棒鋼共販理事會第2部理事會10、11月積販賣値段に關しては半製品、壓延棒鋼、鍛造棒鋼は何れも前月通り据置と決定した。

18日 半製品共販理事會は9月積販賣値段は前月通り据置と決定した。

19日 大本營陸軍部では北、中、南支に於ける7月中の綜合戰果を敵遺棄死體23,770、俘虜1,600、之に對し我方の戰死は809と發表した。

21日 ドイツ政府は突如ラヂオを通じ今回獨り、兩國間に不侵略條約が締結されることに決定しリッペンドロツプ獨外相は23日同條約正式調印の爲飛行機でモスコウに赴く豫定と發表し全世界を嘔然たらしめた。

○天津租界を繞る日英會談も交渉中絶の形の儘實質的決裂を見るに至り去る14日には軍代表の引揚となり本日遂に日支双方夫々独自の立場に於て聲明が發表された。

24日 リッペンドロップ獨外相は大島駐獨大使との會見に於て獨ソ不可侵條約締結により日獨樞軸關係に變更を餘儀なくされたと答へた。

○英國政府は在獨英居留民に即時立退を警告するやう訓令を發した。

○7月中全國生計費指數(大正3年7月基準)は39.5と前月より0.9方の著騰であつた。

25日 帝國政府はドイツ政府に對し獨ソ不可侵條約の日獨防共協定に抵觸する旨の抗議及日獨防共樞軸強化の打切を決定せる旨通告した。

○英、波間に相互援助條約が締結され調印を了した。

○ヒトラー獨總統は駐獨英大使に對し「會議によつて前獨領たるダンチツヒ及び其廻廊を恢復したい。但し波國にはグデニア港の使用を許可す」との最小條件を呈示し斡旋を希望した。一方獨波間の空氣は加速度的に悪化しつつあると

○平沼内閣は獨ソ不可侵條約が我が日獨防共樞軸強化の方針を裏切り帝國外交政策に重大なる結果を及ぼしたことに對し引責辭職を執行し後繼内閣は阿部信行大將に大命降下す

29日 米國商務省發表、本年7月中の銑鐵輸出高6,000t(前月8,000t)又層鋼輸出高は350,000t(前月397,000t)。

30日 英國政府は駐獨大使を通じポーランドがドイツより攻撃を受けた際は英佛は直にポーランドを援助に赴と通達した

○阿部内閣の親任式舉行さる。閣員次の如し。

内閣總理大臣兼外務大臣阿部信行、内務大臣兼厚生大臣小原直、大藏大臣兼企畫院總裁青木一男、陸軍大臣畑俊六、海軍大臣吉田善吾、司法大臣宮城長五郎、文部大臣河原田稼吉、農林大臣兼商工大臣伍堂卓雄、逓信大臣兼鐵道大臣永井柳太郎、拓務大臣金光庸夫、内閣書記官長遠藤柳作、法制局長官唐澤俊樹。

○阿部内閣は首相談の形式を以て施政方針として自主的外交方針の確立及び支那事變處理とを聲明した。

○上海に於て汪兆銘を首席とし國民黨六全大會が開催された

31日 獨逸政府はラヂオを通じ去る25日來英國政府との間に折衝を續けてゐたポーランド要求問題が全部拒絶された旨の經過を發表した。

8 月 中 爲 替 相 場

| 區分 | 對 米 | 對 英 | 區分 | 對 米 | 對 英 |
|------|--------|-----|-------|---------|-----|
| 8. 1 | 27-1/4 | 1/2 | 8. 17 | 27-1/4 | 1/2 |
| 3 | " | " | 18 | " | " |
| 4 | " | " | 19 | " | " |
| 5 | " | " | 21 | " | " |
| 7 | " | " | 22 | " | " |
| 8 | " | " | 23 | " | " |
| 10 | " | " | 24 | " | " |
| 11 | " | " | 25 | " | " |
| 12 | " | " | 26 | 26-3/16 | " |
| 14 | " | " | 28 | 25-9/16 | " |
| 15 | " | " | 29 | 25-0 | " |
| 16 | " | " | 30 | 25-3/8 | " |
| | | | 31 | " | " |

海外鐵鋼事業 (7, 8月)

最近のドイツの鐵鋼輸出 ドイツの鐵鋼輸出は、5月の報告によれば、本年初等以來の漸増傾向を續けてゐる。ドイツの鐵鋼輸出入

統計を一見して甚だ興味を牽られるのは、4月以後輸入が急激に減少してゐるといふ點であらう。然しながらこれは單に、ドイツの保護領たるボヘミア及びモラヴィアからの輸入(其の地方への輸出も同様)が4月以後ドイツの貿易から除外され爲に過ぎないのである(尙ドイツの貿易統計には現在ではズドーテン、メーメル及びオーストリアの數字をも含んでゐる。)既に本年初頭來チエツコスロヴァキアからの鐵鋼輸入が多額に及んでゐる事實から見ても、これらの地方からの輸入を統計から除外した事が、ドイツの輸入數量を著しく低めた事は明らかであらう。ドイツの鐵鋼の輸出入の概數は次表の通りである。

| | 銑 鐵 及 鋼 | 輸 出 | 輸 入 |
|----------|---------|-----------|-----------|
| 1939年 1月 | | 233,000 | 257,000 |
| 2月 | | 239,000 | 282,000 |
| 3月 | | 243,000 | 260,000 |
| 4月 | | 254,000 | 142,000 |
| 5月 | | 264,000 | 120,000 |
| 合 計 | | 1,233,000 | 1,061,000 |
| 前年同期 | | 1,143,000 | 772,000 |

次に主要製品の品種別輸出數量は次表の通りである。

| | 銑 鐵 | 半製品 | マーチャントバー | 形 鋼 | フープ | 鐵 線 (ホット・ロール) |
|----|--------|--------|----------|--------|--------|---------------|
| 1月 | 5,671t | 5,133 | 47,176 | 9,642 | 9,885 | 5,363 |
| 2月 | 5,575 | 5,236 | 43,230 | 11,615 | 10,663 | 5,061 |
| 3月 | 6,865 | 9,296 | 45,755 | 11,111 | 11,190 | 4,743 |
| 4月 | 6,139 | 14,632 | 43,076 | 9,378 | 10,503 | 7,471 |
| 5月 | 12,486 | 13,444 | 48,424 | 10,698 | 10,773 | 9,321 |

次に1月乃至5月間の主要製品の輸出數量を生産數量と比較して見れば次の通りである。

| | 生 産 | | 輸 出 | |
|----------------|-----------|-----------|----------|----------|
| | 1939年 | 1938年 | 1939年 | 1938年 |
| 販賣用半製品 | 306,464 | 193,579 | 54,187 | 48,712 |
| マーチャントバー | 2,337,768 | 2,054,809 | 227,664 | 216,024 |
| 形 鋼 | 504,991 | 445,297 | 52,499 | 49,016 |
| フープ及ストリップ | 385,058 | 385,880 | 53,013 | 49,360 |
| 厚板(3/16"以上) | 774,813 | 765,053 | 63,174 | 89,332 |
| 中板(3/16"-1/8") | 465,331 | 416,269 | 25,929 | 22,455 |
| 薄板(1/16"未滿) | 311,858 | 323,291 | 15,077 | 12,633 |
| ブ リ キ | 111,835 | 102,900 | 52,782 | 48,837 |
| 鐵線(ホット・ロール) | 598,231 | 557,816 | 31,959 | 13,234 |
| チューブ及コンテイナー | 528,804 | 490,733 | 135,103 | 109,526 |
| 軌條及附屬品 | 597,108 | 502,111 | * 74,684 | * 69,068 |

* はコンテイナーを含まず。

此の表にも見られる通り大部分の製品に於いては輸出の増加は、むしろ鈍重である。たゞ鐵線及びチューブのみは可成り増加が大きい。

6月中は輸出注文の流入は幾分減少した。然し國內需要が一層増加した事によつて其の影響は打消された。7月に入つてからは輸出取引は再び恢復した。

本年及び昨年の最初の5ヶ月間の主要製品の向先別輸出數量は次表の通りである。

| | 棒 鋼 | | 形 鋼 | | フ ー プ | |
|--------|--------|--------|--------|-------|--------|-------|
| | 1939年 | 1938年 | 1939年 | 1938年 | 1939年 | 1938年 |
| デンマーク | 42,275 | 25,888 | 14,613 | 4,899 | 5,571 | 2,965 |
| オランダ | 41,740 | 41,463 | 11,405 | 8,410 | 10,205 | 6,290 |
| スエーデン | 12,833 | 7,568 | 6,466 | 6,292 | 1,679 | 838 |
| ブルガリア | 12,021 | 5,516 | 523 | 190 | 3,586 | 2,237 |
| トルコ | 9,243 | 11,051 | 1,747 | 903 | 2,097 | 1,572 |
| ギリシャ | 9,175 | 6,148 | 858 | 187 | 2,958 | 3,610 |
| アルゼンチン | 8,069 | 18,180 | 165 | 1,377 | 2,178 | 1,419 |
| ルーマニア | 7,533 | 2,694 | 110 | 554 | 836 | 960 |
| スイス | 7,488 | 6,153 | 3,012 | 2,318 | 1,876 | 967 |
| ノルウェー | 7,122 | 2,493 | 1,350 | 983 | 896 | 856 |
| ブラジル | 7,326 | 14,159 | 1,079 | 448 | 3,734 | 1,419 |
| ウルグワイ | 5,020 | 8,171 | 136 | — | 802 | 570 |
| 日本 | 3,509 | 3,825 | — | 110 | 117 | 267 |

| | 厚板(3/16"以上) | | ブリキ | | チューブ | |
|----------|-------------|--------|-------|-------|-------|--------|
| | 1939年 | 1938年 | 1939年 | 1938年 | 1939年 | 1938年 |
| デンマーク | 25,703 | 21,240 | 3,440 | 2,200 | 3,183 | 1,756 |
| オランダ | 11,075 | 31,675 | 3,956 | 4,115 | 2,846 | 2,673 |
| スエーデン | 7,607 | 8,405 | 3,315 | 2,624 | 1,646 | 635 |
| ノルウェー | 5,056 | 2,735 | 1,190 | 2,115 | 472 | 324 |
| スイス | 3,206 | 1,513 | 5,465 | 3,862 | — | 851 |
| 大ブリテン | 1,788 | 3,147 | — | — | 145 | 78 |
| フィンランド | 1,058 | 609 | 378 | 275 | 1,551 | 1,187 |
| メキシコ | 895 | — | 1,823 | — | 3,309 | 1,304 |
| ブラジル | 680 | 1,168 | 4,401 | 6,877 | 2,524 | 2,378 |
| ベルギー | — | — | 3,384 | 3,422 | 183 | 90 |
| 英領マレー | — | — | 2,318 | 1,372 | 83 | 188 |
| ユーゴスラヴィア | — | — | 1,894 | 1,094 | 389 | — |
| 満洲國 | — | — | 1,704 | — | 1,140 | 206 |
| パレスチン | — | — | 1,029 | — | 4,154 | 1,935 |
| アルゼンチン | 448 | 1,093 | 3,153 | 3,465 | 6,230 | 6,497 |
| ヴェネズエラ | — | — | — | — | 8,663 | 10,826 |

ブラッセル通信

6月16日發信 當地鐵鋼市況は引續き好調を保持各メーカー共手一杯の注文を握り居り、英國向半製品を始め和蘭よりは鋼板、棒鋼東洋市場としては支那蘭印より入注を見、近東方面も亦波斯はイルマを通じ軌條及附屬品 40,000t の引合を發せりと申候、6月10日迄の6月初旬 Cosibel 入注 52,000t.

Base prices in gold £ fob antwerp

| | |
|--------------------|---------|
| Bars | £ 5-5-0 |
| Angles | 4-18-0 |
| Joist N. S. | 4-17-0 |
| Hoops | 5-15-0 |
| Plates 5/16"-3/16" | 6-10-6 |

6月29日發信 市況は益々活況を呈し各メーカーは全生産能力を擧げ居るも納品は遅れ勝ちに有之候最も入注多きは申す迄もなく半製品にてその大部分は英國向なるは既報の通りに候。

6月28日迄の Cosibel 6月中入注は 175,000t、内工場割當量 145,000t と報ぜられ候。

白耳義年初以來製鋼量月額表次の如くに候。

| | | | | | |
|----|----------|----|----------|----|----------|
| 1月 | 203,830t | 2月 | 193,410t | 3月 | 217,230t |
| 4月 | 212,520t | 5月 | 274,370t | | |

5月以來産額激増を報じ居候。

紐 育 通 信

7月13日發信 6月7日通信以後に於ける米國製鋼作業率は次の通りである。

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 6月12日 | 53.1% | 6月19日 | 55.0% | 6月26日 | 54.3% |
| 7月3日 | 38.5% | 7月10日 | 49.7% | | |

獨立祭の休日を織込み7月初旬に於ける製鋼作業率は其前週に比し 15 ポイントの低下を示せるが本週は再び 49.7% に躍進してゐる。昨今の作業率の足取を見るに如何にも夏潤季にはアブノーマルな現象にして、6月の平均作業率は 53.44% と云ふ好調を示してゐるが、試みに過去5ケ年間に於ける獨立祭休日を含む週及其翌週に於ける作業率の恢復率とも云ふ可きものを對比すると次の通りである

| 獨立祭翌週の作業率 | 恢復度 | 獨立祭翌週の作業率 | 恢復度 |
|-------------|----------|-------------|---------|
| 1939年 49.7% | 11.2ポイント | 1938年 32.3% | 9.9ポイント |
| 1937年 82.7% | 15.4ポイント | 1936年 69.0% | 1.8ポイント |
| 1935年 35.3% | 2.5ポイント | 1934年 27.5% | 4.5ポイント |

ユース社の6月中に於ける製品の載貨量は 733,433t にして之を前月の 723,165t に比するときは 10,268t の増加であり、更に之を昨年同月の 478,057t に比すれば 255,376t の激増である。ルーズヴェルト大統領の提案になる 40 億の莫大なる消費案通過の暁には鐵鋼業は一段と活況を呈す可く、特に建築用材の需要は最も急激なる増加を示すものと觀測されて居る。

米國鐵鋼協會の發表するところによると6月中に於ける國內鋼塊生産高は 3,130,381t に達し、本年上半期に於ける鋼塊生産量は 18,629,927t にして之を昨年同期の 10,788,583t に比するときは 73% の増加なりと云はれてゐる。而して本年6月に於ける鋼塊生産高を其前月に於ける 2,917,876t と比するときは 200,000 餘t の増加であり、之を更に昨年同月に於ける生産高の 1,632,843t と比するに及んでは殆んど倍加の高作業であると云ふ事が出来る。即ち前述の如く6月の平均作業率は夏潤期に不拘、53.44% にして5月のそれは 48.24% であり昨年6月の平均作業率は 28.36% にすぎなかつたのである。

試みに 1936 年下半期より本年上半期に至る月別鋼塊生産高を調べると次の如くである。

| 1936年 | | 1936年 | | 1936年 | | | |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|-------|--|
| 7月 | 3,914,370t | 9月 | 4,151,388t | 11月 | 4,323,025t | | |
| 8月 | 4,184,287 | 10月 | 4,534,246 | 12月 | 4,424,367 | | |
| 1937年 | | 1938年 | | 1937年 | | 1938年 | |
| 1月 | 4,718,430t | 1,734,165t | 7月 | 4,556,304t | 1,974,317t | | |
| 2月 | 4,414,690 | 1,697,454 | 8月 | 4,877,826 | 2,537,102 | | |
| 3月 | 5,218,320 | 2,004,204 | 9月 | 4,289,507 | 2,647,129 | | |
| 4月 | 5,070,867 | 1,919,042 | 10月 | 3,392,924 | 3,105,985 | | |
| 5月 | 5,151,909 | 1,800,877 | 11月 | 2,154,365 | 3,558,363 | | |
| 6月 | 4,184,723 | 1,632,843 | 12月 | 1,473,021 | 3,130,746 | | |
| 1939年 | | 1939年 | | 1939年 | | | |
| 1月 | 3,216,653t | 3月 | 3,396,021t | 5月 | 2,917,876t | | |
| 2月 | 2,982,011 | 4月 | 2,986,985 | 6月 | 3,130,381 | | |

次に此同期に於ける鋼塊生産高を各月別に週單位を以て調べて見ると次の如くなつてゐる。

| 1936年 | | 1936年 | | 1936年 | | | |
|-------|------------|----------|-----------|------------|------------|-------|--|
| 7月 | 885,604t | 9月 | 969,950t | 11月 | 1,007,698t | | |
| 8月 | 944,534 | 10月 | 1,023,532 | 12月 | 1,000,988 | | |
| 1937年 | | 1938年 | | 1937年 | | 1938年 | |
| 1月 | 1,065,110t | 391,459t | 7月 | 1,030,838t | 446,678t | | |
| 2月 | 1,103,675 | 424,363 | 8月 | 1,101,089 | 572,709 | | |
| 3月 | 1,177,952 | 452,416 | 9月 | 1,002,221 | 618,488 | | |
| 4月 | 1,182,202 | 447,329 | 10月 | 765,897 | 701,125 | | |
| 5月 | 1,162,959 | 406,519 | 11月 | 504,183 | 829,455 | | |
| 6月 | 975,460 | 380,616 | 12月 | 333,263 | 703,314 | | |
| 1939年 | | 1939年 | | 1939年 | | | |
| 1月 | 726,107t | 3月 | 766,596t | 5月 | 658,663t | | |
| 2月 | 745,503 | 4月 | 696,267 | 6月 | 729,693 | | |

更に1935年下半年より本年上半期に至る過去4ヶ年間に於ける米國製鋼作業率の月別平均を示せば次の如くである。

| | 1935年 | 1936年 | 1937年 | 1938年 | 1939年 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| | % | % | % | % | % |
| 1月 | — | 52.39 | 81.32 | 29.17 | 53.18 |
| 2月 | — | 54.53 | 84.27 | 31.63 | 54.60 |
| 3月 | — | 57.46 | 89.94 | 33.72 | 56.14 |
| 4月 | — | 69.99 | 90.25 | 33.34 | 50.99 |
| 5月 | — | 69.58 | 88.79 | 30.30 | 48.24 |
| 6月 | — | 70.75 | 74.48 | 28.36 | 53.44 |
| 7月 | 38.86 | 67.61 | 78.48 | 33.29 | — |
| 8月 | 49.85 | 72.11 | 83.83 | 42.68 | — |
| 9月 | 49.99 | 74.05 | 76.30 | 46.09 | — |
| 10月 | 53.72 | 78.15 | 58.31 | 52.25 | — |
| 11月 | 55.61 | 76.94 | 38.23 | 61.81 | — |
| 12月 | 52.66 | 76.42 | 25.37 | 52.79 | — |

アメリカ鐵鋼業界の見たる日米通商條約廢棄問題 最近合衆國政府は、1911年に締結された日米通商條約を廢棄したが、これは經濟的動機といふよりも、むしろ多分に政治的な驅引によつて行はれたものだと、鐵鋼業界は見てゐる。此の廢棄通告に於いて、6ヶ月後には日本に對する輸出を禁止し得るといふ事が豫告されてはゐるが消息通の間では恐らく斯様な事態には立ち到るまいと信ぜられてゐる。むしろ彼等は、今般の政府の處置は、支那に於けるアメリカの權益の保證、及び或る種の日本政府の政策の變更、等を要求する爲の會議を開かうとして、戦闘準備を行つたものであると解してゐる。さらば云ふもの、此の處置が、アメリカの一攫千金の對日貿易に、不安の翳を投げかけるものである事は否めない。對日輸出禁止案は、今議會にピットマンによつて提出され、盛んに論議された。上院の對外問題委員會によつて掩護されて、此の案は結局幾分の修正を受けて、軍需品及び鐵、鋼、石油、ガソリン、屑鐵、屑鋼、其の他の輸出禁止を決定する事となるだらう。

來年1月以後此の問題に就いてどういふ行動が起こされるかが、主として今後6ヶ月間に發生す可き事態に懸かつてゐる事は、疑ひない事實である。=ニューヨークの或る有力な金屬輸出業者は、これに關して次のやうな意見を漏らしてゐる。即ち此の條約廢棄の窮局の、正味の結果は、日本側は其の最近の支那に於ける政策を修正し一方アメリカ側は古くからの重要な顧客たる地位にある日本に對して當然の禮讓を盡くす事によつて、日米關係に多少の「手綱を締める」といふ事に終るに過ぎないだらう、といふのである。

ところで一體、鐵、鋼、及び其の他の金屬は對日貿易について如何なる利害を有てゐるだらうか。日本は過去5ヶ年に、アメリカから年間約1,000,000t 平均の屑鐵鋼を購入した。特に1937年の如きは、1,865,000t に達したのである。又昨年11月迄は、日本は鋼材についても相當な市場であつたのだが、11月以後は鋼材は他國から輸入しない事を宣言した。此の事は、其の製鋼能力が自國の需要を満たし得る程度に達した事を示してゐる。けれども尙、日本は原料の供給については、外國に依存してゐる。即ち鑛石は太平洋岸の多數の國々から、又屑鐵鋼はアメリカから供給を受けてゐるのである。アメリカからの鐵、鋼及び屑鐵鋼の對日輸出は次表の通りである。

| | 鐵鋼材及製品 | 屑鐵鋼 | 合計 |
|------------|---------|------------|------------|
| 1934年 | 80,746t | 1,168,498t | 1,249,246t |
| 1935年 | 83,416 | 1,065,143 | 1,148,559 |
| 1936年 | 54,101 | 1,009,767 | 1,063,868 |
| 1937年 | 879,652 | 1,865,918 | 2,745,570 |
| 1938年 | 484,879 | 1,156,768 | 1,641,647 |
| 1939年(5ヶ月) | 72,306 | 860,975 | 933,101 |

アメリカの機械器具も亦、極東を市場としてゐる。日本の機械器具の輸入は、1938年は1937年に比して倍加してゐる。即ち輸入總額は、金額にして約17,000,000 弗から35,000,000 弗に増加してゐるのである。其の内アメリカからの輸入は、37年及び38年に於いて、夫々12,151,886 弗及び23,811,408 弗であつて、其の總輸入額に對する割合は、夫々69.6% 及び67% である。今年の機械器具の積出は、月平均2,000,000 弗であつて、此の儘續けば、今年の合計は昨年の合計超過するに到るだらうと考へられる。

尙太平洋問題研究所の報告によれば、日本の金屬加工設備の輸入は、36年の30,000,000 弗から37年は53,000,000 弗に増加し、其の内アメリカは37年に30,000,000 弗を供給してゐる。

日本が鐵鋼自給度をなほ一層大きくしようと努力してゐる結果として、アメリカの機械製造業に對して、製鋼工場設備に對して大きな注文が齎される事となつた。先頃も數百萬弗に及ぶ此のやうな設備が、日本の二製鐵會社から United Engineering & Foundry Co. に對して發注されたと報ぜられた。これは86吋の半連續式鋼板壓延工場及び薄板壓延工場を含むものであつた。

1938年には、日本はアメリカの航空機類の最大の購入國であつた36年には僅に989,100 弗にしか達しなかつた其の購入が、37年には2,500,000 弗、38年には實に11,000,000 弗の多きに達した。然るに本年初頭以來日本は、アメリカの航空機の輸出市場としては、フランス、英本國、オランダに地を譲つた。其の他のアメリカの對日主要輸出商品は、棉花、石油、銅等である。

もしも今後時の経過と共に、對日輸出禁止が實現しきやうな形勢になつて來れば、日本の合衆國に於ける物資、特に屑鐵鋼及び急需機械等の購入は、恐らく急激になるだらう。それにしても、貿易に巧妙な日本は、出來れば餘り急激な支拂勘定の増加を避ける爲に、慎重な態度を採るであらう。

アメリカ鐵鋼輸出貿易近況 最近のアメリカの鐵鋼材及製品に對する外國の需要の増加は、製鐵業界の既に増大してゐる取引數量を尙一層膨脹させる事であらう。外國からの購買が、今後なほ數ヶ月に亙て、國內の製鐵會社に大きな數量の仕事と與へるであらうといふ事は、現に繼續中の引合ひが可成り數多くある事や、大きな數量の注文が市場に出さうだといふ噂のある事や、ヨーロッパ鐵鋼業に於いて價格の昂騰及び取引の増加傾向が窺はれる事等によつて暗示されてゐる。以上のやうな様々の發展と結びついて、更に最近報ぜられてゐるところによれば、世界鐵鋼市場に於いて國際鋼カルテルと協調する爲に、ウェブ・ポマリン法に基いて組織されたアメリカ鋼輸出協會 American Export association に、若干のアメリカの獨立製鐵會社を加入させようとする運動が、行はれてゐるとの事である。今までは獨立の會社は、カルテルに加入して賣買を行ふ事は、その割當の僅少なる點からして、餘り喜ばなかつた。これ等の會社の大部分は、主として鋼板のメーカーであり、オランダ及びスカンデナヴィア諸國と大きな取引をして居た。

現在噂されてゐる大きな引合のうちには、日本向の軍器用鋼板用の鋼塊及びスラブの、數十萬噸に及ぶ引合がある。又他の報道によれば、英國が300,000t の軍器用鋼板或ひは半製品を、購入するかも知れないと云はれてゐる。フランスも恐らく、可成りの數量の注文を出すであらうと信ぜられてゐる。又オランダ及びトルコ向けの數百噸の引合が幾組も出でゐる。

軍器用鋼板を別として、最近購入された乃至は目下引合中の他の鋼材も、其の大部分は、間接的にはやはり再軍備に向けられるものであつた。實際アメリカの製鐵會社は、ヨーロッパの製鐵會社が軍

需注文に忙殺されて、其の顧客たるラテン・アメリカに供給する事が出来なくなつた爲に、此の方面から振り向けられた注文を得てゐるやうな模様である。

英國の製鐵會社も、現在は殆んど能力一杯に操業してゐる。ドイツも同様である。フランスは尙幾分は國外需要を満ち得る餘裕があるやうであるが、然しこれとても追ひ々々忙しくなるだらう。ベルギー及びルクセンブルグの状態はそれほど緊迫してはゐないが、然しこれ等の諸國の工場は、雜多な需要に應じ得る設備を有てゐない。

此のやうな餘剰能力の減少は、多く此の數ヶ月の間に生じた現象である。さうして勢の赴く處、全世界の鐵鋼業の状態が緊迫するに到る事も、全然起り得ない事ではない。

英國は合衆國の最大の顧客となつてゐる。即ち英國は最近、冷間壓延用材料たる熱間壓延ストリップを、10,000t乃至12,000t注文した。最近發表の統計によれば、英國は5月には1,800t、6月には2,000tの熱間壓延ストリップを購入した。此の2ヶ月間に積出された熱間壓延薄板は月當り3,000tであつた。

最近デンマークが4,500tの造船用鋼板を購入した。これは最近の取引の中で最も重要なものであつた。これは8月の統計に實際の數字となつて表れるのであらう。6月中の炭素鋼鋼板輸出は、主として造船用のものであつたが、總計28,000tに達した。其の内訳は、スウェーデン向け8,500t、オランダ向け5,500t、モウザンビツク向け3,000t、ノールエー向け1,100tであつた。其の外フィンランド、南アフリカ、支那、イタリー、ブラジル、印度等からも可成りの數量が購入された。値段は駈りである。

又日本から3,000tのハイスピード・ワイアードの引合が出ていると報ぜられてゐるが、これは一部分軍需工業向けのものであらうと推察される。ブルガリアも亦8,000t乃至10,000tの5番線材の引合を出してゐる。ギリシヤも屢々ワイアード市場に出動してゐる。大部分のアメリカの鐵線のメーカーは、其の價格が約3分の1方高過ぎるといふので、市場から除外されてゐると云はれてゐる。

支那が現に其の領土の大部分を失つてゐるにも拘らず、アメリカの輸出貿易に於いて、最近なほ一つの要因となつてゐる事は、全く驚く可き事である。最近約4,000tの銑鐵が積出された。支那はまた高級の屑鋼にも關心を有てゐる。これは確かに再壓延用のものと思はれる。尙線材をも購入し、其の7月中の合計2,300tに上つてゐる。支那は又6月に1,200tの棒鋼を購入した。又佛領印度支那向けで積出された3,600tも、結局は支那奥地の新しい工業地帯に送られるものだと思はれてゐる。

ブラツセル通信

8月10日發信 市況前便以來引續き好況を持續し、目下暑中休暇季節にも拘らず英國向半製品其他活潑に商談進捗せるも、各メーカーは何れも手一杯にて、納期は兎角追はれ勝に候、最近本邦よりシートバー入註のことに候、7月中Cosibelの工場割當産量180,000t、又8月初旬の入註45,000t、内3分の1内地向と發表せられ候。

8月18日發信 暑休期節の爲茲幾分市場閑散と相成候へ共各メーカーを何れも手一杯の注文を握り居り工場は活氣を呈し居候。

7月中白耳義鋼塊産量289,953t(6月中298,400t)にして前年同期に比し110,700tの増産に御座候尙昨年中月産量平均184,300tに對し本年初7ヶ月平均241,300tと發表せられ申候

紐育通信

7月21日發信

米國屑鐵輸出趨勢と年内の變想 5月中に於ける米國屑鐵の輸出状況を見るに、同月中の輸出總數384,881t、此價格5,638,013弗にして、前月たる4月中の輸出額240,124t、此價格3,595,271弗と比較するときは著しき躍進であつて、昨年5月の374,320t、此價格5,520,068弗を稍々超過の趨勢にある。この内日本向198,686tにして、依然としてleading buyerの地位にある。次は英國の60,798t、伊太利の48,007t、ポーランドの26,562tの順序となつて居る。而して本年1月以降5月迄5ヶ月間の輸出高を見ると總計1,390,064tであつて、昨年同期の1,636,247tに比するときは15%内外の低下を示して居るのであるが、それにも不拘本年全體を通じて見るときは、恐らく昨年を超過するものと一般に觀測せられて居る或る有力なる専門家の豫想によれば、昨年を超過するものと見て居る。その根據とする所は、要するに歐洲鐵鋼業の賑盛にある。

歐洲向殊に英國及ネーザランド向屑鐵は本年上半期に於て著しき低下を見たのであるが、而も最近に至り積出は目覺しき發展過程にあり、伊太利又同様にして、恐らく本年は全輸出量の半分は歐洲に向けられるものと豫想せられて居る。是は全く國防軍需品の製造に追はれ居るが爲めにして、試に1月以降5月迄の製鋼高を昨年同期と比較して見てと次表の通りである。

| | 1939年 | 1938年 |
|---------|------------|------------|
| 英 國 | 5,230,000t | 5,150,000t |
| 佛 蘭 西 | 3,145,000 | 2,704,000 |
| ベルギー | 1,115,000 | 892,000 |
| ルクセンブルグ | 740,000 | 564,000 |
| 伊 太 利 | 925,000 | 907,000 |
| 獨 逸 | 10,072,000 | 9,186,000 |
| チエツコ | 667,000 | 809,000 |
| ポーランド | 814,000 | 590,000 |
| 合 計 | 22,708,000 | 20,802,000 |

鐵鋼配給統制規則の改正 商工省は8月2日附省令第41號を以て鐵鋼配給統制規則を次の通り改正した。

- 第1條 本則ニ於テ鐵鋼トハ銑鐵(磷ノ含有量1萬分ノ3以下ノモノヲ除ク)、鑄鐵管及ニ別表(省ク)ニ掲グルモノヲ除クノ外鋼塊、壓延鋼片、シートバー、ティンバー、スケルプ及ニ壓延鋼材ヲ謂フ
- 第2條中「昭和13年9月30日前」ヲ「昭和14年8月9日以前」ニ改メ同條第2號ヲ削リ第3號ヲ第2號トス
- 第9條中「引換後遲滞ナク」ヲ「引換ヘタル日ヨリ15日以内」ニ改ム、別表中「壓延シタル鋼材」ヲ「材料トシテ製造シタル鋼塊、壓延鋼片、シートバー、ティンバー、スケルプ又ハ壓延鋼材」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和14年8月10日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ引換ヘタル鐵鋼割當證明書ニ付テハ鐵鋼ノ製造業者又ハ販賣業者ハ本令施行ノ日ヨリ15日以内ニ之ヲ商工大臣ノ指定シタル者又ハ團體ヲ經由シ商工大臣ニ提出スベシ

(參照) 昭和13年6月20日商工省令第33號鐵鋼配給統制規則抄録

第1條 本則ニ於テ鐵鋼トハ銑鐵(磷ノ含有量1萬分ノ3以下ノモノヲ除ク)、鑄鐵管及ニ壓延鋼材(別表ニ省クニ掲グルモノヲ除ク)ヲ謂フ

第2條 鐵鋼ノ製造業者又ハ販賣業者(シャリング業者ヲ含ム、以下同ジ)ハ官廳、公共團體又ハ商工大臣ノ指定シタル團體(以

下統制團體ト稱ス)ニ於テ發行スル鐵鋼割當證明書ト引換フルニ非ザレバ鐵鋼ヲ使用スル者ニ對シ鐵鋼ヲ販賣(昭和13年9月30日以前ニ爲シタル契約ニ依ル引渡ヲ含ム、以下同ジ)スルコトヲ得ズ但シ次ニ掲グル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

2 製鐵用原料又ハ材料トシテ製鐵事業者ニ鐵鋼ヲ販賣スルトキ

同時に之に關シ商工省より日本鋼材聯合會に對シ左の通り通牒があつた。

14 鐵發第 113 號

昭和14年8月11日

商工省 鐵鋼局長

鐵鋼割當證明書發行ニ關スル件

今般鐵鋼配給統制規則改正ニ伴ヒ製鐵業者ニ於テ製鐵用原料又ハ材料トシテ鐵鋼銑鐵、銅塊、壓延鋼片、シートバー、テインバー、スケルプ及壓延鋼材ヲ購入スルトキ並ニ製鐵業者以外ノ鐵鋼ヲ使用スル者ニ於テ銅塊、壓延鋼片、シートバー、テインバー及スケルプヲ購入スルトキハ鐵鋼割當證明書ヲ必要トスルコトト相成候處之等鐵鋼割當證明書ニ付テハ貴會ヲシテ發行セシムルコトト決定致候條此段及通牒候也

又之に關シ日本鋼材聯合會ハ 14 鋼聯第 166 號(8月5日)附を以て次記の通り通牒を發した。

鐵鋼配給統制規則改正ニ關する御注意

本改正に付ては本月2日商工省令第41號(別紙添付書類一省く)公布せられしを以て既に充分御承知の事と存候へ共萬一改正省令に付充分御理解なく不知の間に萬一違反をなさるゝ向有之候ては遺憾此に不過候間茲許次記の諸點特に御留意相成度候

1. 8月10日以後製鐵事業者も一般需要者同様銑鐵、銅塊、半製品、壓延鋼材等に對しては凡て當聯合會發行の配給證明書引換に非れば此を購入することを不得ること
2. 本則は既契約品と雖も8月10日以後受渡さるゝものには凡て適用さる
3. 從來の實例に徴するに規則の變り日直後の受渡品に付兎角規則違反有り勝に付少くとも我々製鐵事業者に於ては絶対に斯の如き反則起らぬ様特に御配慮のこと
4. 今後配給證明書は其の記載品物の受渡を了りし後必ず15日以内に指定されたる統制團體に廻はさざれば處罰さるべく候

鐵鋼配給證明書返還團體ニ關する規定の一部變更 商工省は8月2日附告示第180號を以て昭和13年商工省告示第290號を次の通り改正した。

鐵鋼配給統制規則第9條ノ規定ニ依リ次ノ通り會社及團體ヲ指定ス

1. 銑鐵(磷ノ含有量1萬分ノ3以下ノモノヲ除ク)又ハ鑄鐵管ニ關スル鐵鋼割當證明書ニ付テハ「日滿鐵鋼販賣株式會社」
1. 銅塊、壓延鋼片、シートバー、テインバー、スケルプ又ハ壓延鋼材(鐵鋼配給統制規則別表ニ掲グルモノヲ除ク)ニ關スル鐵鋼割當證明書ニ付テハ「日本鋼材聯合會」

(參照) 鐵鋼配給統制規則第9條

鐵鋼ノ製造業者又ハ販賣業者ハ其ノ引換ヘタル鐵鋼割當證明書ヲ引換後遲滯ナク商工大臣ノ指居シタル者又ハ團體ヲ經由シ商工大臣ニ提出スベシ

棒鋼、形鋼、鋼板の新建値實施について 8月1日より實施さるべき日本鋼材販賣株式會社賣出の棒鋼、形鋼、鋼板の新建値について商工省は各地方長官及び外地長官宛次のやうに通告した。

14 鐵局第 1312 號

昭和14年7月28日

商工省 鐵鋼局長

棒鋼、形鋼、鋼板賣出値段ニ關スル件

今般日本鋼材販賣株式會社賣出シノ棒鋼、形鋼、鋼板指定河岸實需家渡値段ヲ別表ノ通相定メ來ル8月1日ヨリ之ガ實施可相成候處右實施ノ際ニ於テ該値段ヲ超過スル既契約分ニ付テハ新値段ニ改訂スルコトト相成候條御了知ノ上貴管下業者ニ之ガ勵行方御配慮相煩度此段及依頼候也

追而建値制度ニ關シテハ囊ニ送付致置候鋼材配給機構整備要綱第2及第10御參照(昭和14年5月25日發行販賣旬報第149號參照)相成度尙7月31日迄ニ需要者船積又ハ貨車積ヲシタルモノニ付テ8月1日以降ニ着荷セルモノト雖モ8月1日以前ノモノトシテ取扱フモノトシテ取扱フベキ儀ニ有之申添候

尙日本鋼材聯合會常務委員會ハ更に小委員會を開催シ商工省よりノ指示に従ひ次の如く決定シ發表した。

棒鋼、形鋼、鋼板の新建値實施ニ關する指令

1. 日本鋼材販賣株式會社が8月1日より實施すべき建値を別表の通り定む
新建値は全面的に8月1日より之を實施するものとす
1. 8月1日以降引渡すべき實需家に對する既契約品に付ても其契約値段が新建値を超過せるものは總て新建値に改訂し引渡をなすものとす、此の場合本船積は本船出帆日、船直送は船出日、貨車積は其積込日を以て引渡日と看做す

1. メーカー又は配給店にて本指定に反するものある場合は割當又は取引の減額、停止、資格の取消等嚴重なる制裁を加ふべし

日本鋼材聯合會
棒鋼共同販賣組合
形鋼共同販賣組合
鋼板共同販賣組合

日本鋼材販賣株式會社

伸鐵品の販賣値段について 日本鋼材販賣株式會社は同社賣出の棒鋼、形鋼、鋼板の指定河岸實需家渡値段に付て之が改訂を行ひ(別掲昭和14年8月中發表各種鋼材建値表參照)8月1日より實施する事となつたが、伸鐵品に付ても8月1日以降同社よりの新規賣出品に適用する事とした。但し指定問屋及特約店の7月31日迄に購入した在庫伸鐵品の販賣値段に付ては8月31日迄を經過期間として從來の伸鐵品健値に準據した、販賣値段を認めて、9月1日より同社の新建値によつて販賣することと決定した。尙此に付て商工省に於ても各地方長官及外地長官(朝鮮、臺灣、樺太)宛次記の通り通告した。

14 鐵局第 1312 號ノ内

昭和14年8月1日

商工省 鐵鋼局長

棒鋼、形鋼、鋼板賣出値段ニ關スル件

日本鋼材販賣株式會社賣出シノ棒鋼、形鋼、鋼板指定河岸實需家渡値段ニ關シテハ客月28日14 鐵局第 1312 號ヲ以テ及依頼候處伸鐵品ニ付テハ8月1日以降同社ヨリノ新規賣出品ニ付テ適用シ但シ指定問屋及特約店ノ7月31日迄ニ購入ノ在庫伸鐵品ノ販賣値段ニ付テハ同社ニ於テ8月31日迄ヲ經過期間トシテ從來ノ伸鐵品健値ニ準據セル販賣値段ヲ認メ9月1日ヨリ同社ノ値段ニテ販賣スルコトト決定致候條此段及御通知候也

日鐵指定河岸の一部改正 當社に於いては本年4月に指定河岸の全般的な改正を行つた處、其の後更に其の一部を改正するの必要を認め、8月30日附を以て各船會社、日本鋼材販賣會社、舊指定商其の他各關係方面に對し次の通り通知した。

販受第689號

昭和14年8月30日

日本製鐵株式會社販賣部

指定河岸變更の件

拜啓 本年4月1日附を以て改正致候弊社指定河岸中次の通り變更し9月1日より實施可致候間御了承相成度候

1. 新設の部

- 第130號 陸軍航空本部築地倉庫 京橋區築地5丁目2ノ1
 第310號 横川シャリング工場 本所區龜澤町4ノ12
 第508號 興國鋼線第一工場 城東區龜戸町9ノ98
 第512號 東洋製線株式會社 江戸川區平井町1ノ2,376
 第836號B 東京シャリング分工場 大阪市西成區津守町323ノ2

1. 廢止の部

- 第106號 岩崎レール倉庫 京橋區築地4ノ8
 第10號 横川シャリング工場 本所區龜澤町4ノ14
 第510號 大井製線所 荒川區尾久町10ノ1,820
 第847號 東京シャリング分工場 大阪市大正區泉尾濱通1丁目

1. 變更の部

- 第318號 梅岡正吉商店倉庫 深川區佐賀町
 を次の通り變更梅岡商店向其他に使用
 第318號 美倉橋共同河岸 神田區神田川筋
 尙送狀記入に當り既契約分の受渡場所は從來通りの番號(倉庫又は工場名記入)にて記入差支へ無之候

東京、大阪鐵鋼市況

東京市況(7月中)

8月1日から棒、形、板が夫々若干の値下げとなる。

時は正に炎暑、三伏の候である。

世が世ならば、買控へと夏潤れて、買氣は地を拂ひ、賣逃げが横行し、此處に所謂極度に不振と云ふ市況を見せるに至るのであるが昨今には全く其の事が無い。

値段は規定通りをカツチリしてゐるのみならず、兎もすれば不心得にも高値が現れ勝ちと云ふ情勢であり、品物は有れば引張り尻に抱へ込まれる始末である。

其の理由は、之れを根本に溯て求めると事面倒になるので、市場現實の問題に就て見る事とするが、それは要するに、問屋は肩を透かさねばならぬ程現品を持ってをらぬし、賣出しが極減してゐた結果高値先物を抱へてもをらず、且つ手持切符の消化に苦勞してゐる始末で、何も自ら進んで賣抜ける必要が無く、一方需要家は材料難で古い仕事が片付かず、納期に追はれる仕事に責められてをり、且復手當可能な物は無條件即座に買約をしてをかねばいつの日再び其の物に繞り合ふか知れぬので、暑いからとて息を抜く處の騒ぎではなく、更に緊蹙一番材料漁りに鶉の目鷹の目ならざるを得ぬからである。

尤も昨今は切符制度に慣れ旁々無い袖は振れぬと云ふ事も充分に沈思されるやうになつて、賣買兩面共徒に慌てふためかぬやうになつてゐるし、4,6までの切符で出る物は殆んど呈出済みの上に7,9の切符が現れて來ぬので、今月となつてから聊か閑散氣配と言はれてゐるが、之れは決して過去に於て謂ふ閑散ではない、空腹であ

り食欲旺盛ではあるが、肝心の食物が無い爲め蟲を殺して待機してゐるので品物さへ有れば狼群に餌を投じたやうになる種類のものである。

要するに總てが品拂底に制御されて、8月1日と云ふ劃期を目前に控へ、夏潤れに面しても少しもそれ等に影響されず、冷靜に、大勢不變に推移してゐる。

東京市況

丸 鋼 6mmは伸鐵が過去暫くの間メーカー及びシャーから供給された材料で特急向を製作してゐたので、先月頃までは其の餘惠を稍々受けてゐたが、最近はそのも一段落で、餘惠物は見られぬやうである。大阪からの新規補足配給も絶望となつた由、斯くて此の方面からの供給は日一日と影を薄めたので、昨今の市中在庫は有るか無しかとなつたが、一シャーが臨時賣として特殊取引先に極く少量ながら積出す場合が有り旁々ロッドの轉出が皆無でもないので、6mm關係が商賣、仕事共に全然手も足も出ぬと云ふのではない。一方舊小口切符は大分残てゐるが新規切符の出廻りは中絶状態であり、殊更手當を急ぐ向も無く、無い袖は振れぬと云ふ氣配も有て、賣買共にあきらめ症候である。値段は東京伸鐵物は27圓80錢即ち28圓搦であり、大伸物が残てをれば29圓見當なので、高値に引き寄せられると云ふやうな見方を抜きにして、二つを併記する事とした。7.5mmは一シャーから臨時に入るか入とぬかの状態であるが、一方之れを要求する度は非常に低いので依然として關心外に置かれてゐる。規定値段は25圓70錢である。

9mmは伸鐵、日鐵の舊約物が極く弗々入るのみ、伸鐵は極度の材料難で新規賣出し無く、日鐵は切符嚴選で、緊急物も甚敷く限定されて一般的には殆ど新規手當の望が無く、一方切符は成るべく掻き集めぬやうにしてゐるのではあるが、餘程以前からの切符が大分残てゐるので極端なる窮窟状態を呈してゐる。12mmは伸鐵品は愈々姿を消したと見てよい。昨今では一メーカーが臨時に極く少量を出すとか出さぬとかの程度で、市中在庫は正に品切に類してゐる。若し品物が残てゐれば値段は別表市中相場に記載したものを唱へられる筈である。

16-32は先物を見込んで註文を受けてゐるが、積遅れが激しいのみならず6月賣出しの8,9月積が賣止めとなつたので不足觀は彌が上にも助長され、加ふるに緊急向即ち註文製作も切符嚴選主義で軍需以外は殆ど絶望なので供給難を更に一層痛感せしめられてゐる。一方切符は一向に捌けずして山積し旁々必要とする度が強く、根氣よく切符を抱へて探し廻るので需要は手に負へぬ程に迫てゐると思はせられる。彼是相俟てベース丸關係は拱手傍觀の已むなき状態に置かれ、事實在庫も殆ど品切である。値段は來月からは若干の値下りを示す筈なので以前ならば今頃は買控へ、賣焦りの氣配が生じてゐるが、昨今は決して其の事無く、品物が有れば右から左に消えて行き而も必ずしも規定値段保し難しと云ふ情勢を呈してゐる。規定値段は不變。

36-48は目がベース丸に集注されて、此の邊が閑却されてゐた結果、入荷薄から品切状態を呈してゐるが、入用も亦次の次に考へられてゐると云ふ工合で、依然として片隅に置き忘れられたる商狀を續けてゐる。50-100は2,3メーカーから比較的順調に積出される。尙ほ鋼管が60,70,80も作つて中丸全品種が出されるやうになり、一方、中間鋼が相當残てゐて、いざとなれば之れを利用して凌ぐ事が出来るので、ベース丸等に比すれば遙に供給が豊である。従て、勿論不足勝ちで、舊切符に手が届くに過ぎないが、それにしても舊

切符が弗々消化されてゐて、昨今としては比較的健康状態を持してゐる部類に屬してゐる。値段關係不變。

太丸は鋼管が不定期に 130mm 位ひまでを出し、日鐵が需要を厳選して臨時に出さぬわけでも無いので、極く弗々ながら商内が見られるやうである。尤も在庫として残る事はなく旁々メーカーから需要家に直送される場合の方がむしろ多いので相變らず市場性は僅少で、商内と云つても至極微々たるものである、値段關係不變。

角、平鋼 角鋼 6mm, 7.5mm, 9mm は共販物無く、東京伸鐵の賣出しも見られぬので、さう云ふ物は品切である。従て一般には間屋は手當てがつかず、需要家は買へずで甚敷く市場性を喪失し、無氣力に推移してゐるが、最近大伸物の補足配給を受けた店が有て、其處に稍々商内を見られぬではないかと云ふやうな貧弱な需給状態を呈してゐる。値段は 6mm, 7.5mm は 28 圓前後となる。9mm は東京物は 26 圓 20 錢、大伸物は 27 圓 50 錢見當が規定値段である。12mm は最近は大伸物も來ず殆ど品切に近いやうである。有れば大伸物の残りなので、値段はそれに據るべきであらう。即ち 28 圓見當である。16-38mm は若し出廻れば、大伸物である。事實多少はその恩典に浴してゐる向が有るらしいが、大阪鋼材の餘りが特殊關係筋に極少入るのみであるから全般的には供給力殆ど皆無と觀じられてゐる。従て注文は少いのであるが、その少い注文の引受けも差し控へて専ら既約を片づける事に傾いてゐると言はれてゐる。値段關係は不變である。

44mm 以上は日鐵發生品と大伸物に俟つのであるが、何れも供給力が激減してゐて、新規に切符を引受ける事は良心的に許さぬと云ふが如き状態となつた。中角は八幡で大部分量に製作されるのであるが、市場向として出て來る餘裕が無いのである。此の傾向は當分緩和の氣配無し、品物が有れば値段關係は不變。

平鋼 3mm 厚は 3×19 位ひに到るまでも漸次供給力が鈍てゐるが、之れは幾分かは残てゐるし、風の吹き廻して積出されぬ事も無くはないので、全然手も足も出ぬと云ふ情勢ではない。然し、之れ以上の廣幅物は品切と云はれ、例に依り 50mm 幅前後以上は不經濟を承知の上で、フープや切板を利用して急場を凌ぐ有様である。

小形平は釜石、富士、東京シャアの供給を頼みの綱としてゐるのであるが、市場向の賣出しが殆ど見られず、旁々舊約物も積遅れで入荷極減し、市中在庫拂底を極めてゐる一方不相變切符が山積してゐるので、茲許間屋は開店休業、需要家は拱手傍觀の態である。尤も特殊物即ち蹄鐵用、刃物用或は極軟等は支給材、直送物に依て仕事が可能ではないやうであるが、一般需要は窮窟の限りである。不經濟と 3, 4 圓の損を覺悟の上で、切板を代用する場合を見受ける状態である。75mm 幅以上は大伸物の補足配給を受けられる向が無くはないが、之れも亦不自由が進行してゐて一般的に手當てが出来るのではない。斯くて大伸物は漸次姿を消しつゝあるが、一方東京シャアが共販を通して 6, 7 月、7, 8 月積を急需に向けて少量ながら出したと言はれるので、比較的用入が少い物であると云ふ事と相俟て不自由を啣つ聲は低い。値段は共販値も有る筈である。

形鋼 小山形 A 級は大阪からは殆ど流入せぬ模様である。賣買共にあきらめられてゐる。東京物は全然絶望なので、参考値であつても大伸値を探らざるを得ない。B 級は共販物、大伸物共に供給が窮窟になるばかりであるが、之れは多少供給道が残されてゐる。極く弗々ではあるが、切符を消化しつゝある一方餘り性急に需めんともせぬので、切符は大分残てゐるが、餘りうるさくはないやうである。C 級は 4×45 が過般久し振りに多少入荷したが、直ちに消化された由、但入用多い物に非ず、旁々出廻らぬのが當然であると

高承知されてゐるので、忽ち品切となつても問題とされぬ情勢である。其他は最近積出し力鈍く在庫は漸減してゐるが、入用も亦敬遠されて減少してゐる。従て多少餘裕が有つた上に消化が鈍いので、積出が悪くても他鋼材に比すると在庫は残てゐる賣買共に餘裕を存してゐる。値段關係不變。

中山形等邊は需要の多い物なので 6 月の賣止めが一倍に利いて、中山貧困の感を深めてゐる。加ふるに臨時賣も最近は 1, 2 メーカーが緊急用に少量を受けるのみなるに一方入用は今まで入荷を持ちに待つてゐるものが多い事とて手當をいそぎ、鶉の目鷹の目で探し求めるので一層拂底が喧傳される。尚ほ中山メーカーに特殊注文が分布されたので、今後益々市場向は窮窟になるであらうと悲觀する向が多い。値段不變。中山不等邊は僅に鋼管及び宮から出るのみであり而も其の供給力が漸次減退しつゝあるので市中在庫は拂底を示して來たが、入用が追ひかけて來ぬので窮窟を感じる程度は軽いやうである。然し之れも亦店賣用としての賣出しは漸次減少する運命に在るやうで、先行一段の窮窟化を覺悟されてゐる。大山形は 150×150, 200×200 が入用が少い物なので未だ大分残てゐるらしいが、其他は大山多しの聲が続いたので、積出しが自重されてゐた上に輸出に向けたり伸鐵材に向けたり清掃操作が行はれた結果大分在庫が減少して、最近では在庫は過不足無き状態となつた。商内は少い。

溝形、工形は鋼管物は特殊需要に取られて、餘りが流入する情勢なので入荷漸減してゐるが、それにしても之れは僅かづゝでも積出されるので、弗々ながら賣買が出来るやうである。日鐵物は特急向は引受けられるが、切符厳選で一般需要は大體入手不能に近い。切板とアングルを利用して代用品を作り、急場を凌ぐ場合も大分見られる。鐵鋼會館が木造の餘儀無き時勢であるから、入用が抑制されて入用減となり、且つ入手難が覺悟されてヤイノヤイノと騒がれぬとは云へ、供給が激減してゐるので、窮窟觀は深いやうである。値段關係不變。

鋼板 1'6 の 3×6 は久しく在庫過多が続いたので、其の頃先物の申込みを控へた上に幾分か値引きして賣抜け策に傾いた。従つて消化される一方入荷減少して近來では頼に手持が軽くなつた。それと同時に切符が多く感ぜられるやうになつて最近では 3×6 拂底の聲も起つてゐる。然し之れは比較供給力が豊なので極端に困る處までは追ひ込まれぬと見られてゐる。4×8 は弗々積出されて、切符を消化しつゝはあるが、所詮手持として残る段とはならず、未だ拂底觀を抱かれてゐる。5×10 は最近入荷しつゝあつて舊切符を弗々消化しつゝあるが、潤れ切つてゐた事とて、切符は多くないが大體切符整理に費されてしまふやうである。2'3 の 3×6, 4×8 は入荷不順調で拂底の儘、然し入用少くて品掠が甘受されてゐる。5×10 は依然として出廻り無く、品切状態を續けてゐるが、之れ復切符少く且つ新規に特に之れを需められもせぬので、概して出るまで待たれるやうである。

3'2, 4'5, 6 は 3×6, 4×8, 5×10 を選ぶ慾は許されず、旁々絶對量は少いが、以前を思へば、入荷比較順調で、小口舊切符は弗々片づけつゝある由、然し勿論大口需要には應へられず、未だ可成り古い切符を整理してゐる状態であるとは言ふを俟たない。然し緊急物は例の指定商名買附けで手當てが出来るし、鋼板の供給力が比較的好望視されて來たので彼是相俟つて一頃よりは拂底觀が大分改善されたやうである。

8mm 以上はシャ 1 からの出廻り圓滑であり、緊急向にも據る事が出来る一方漸次切板が利用されて定尺の入用が減少しつゝあるのでも亦供給力に餘裕有りと思込まれる事と相俟つて棒、形に比す

ると窮富観は大分軽い。

鋼板の値段關係は目下の處不變である。

大阪市況(7月中)

丸鋼「世の中は三日見ぬ間の櫻かな」世の中が變轉極まりなき事はまことに猫の眼玉のやうである。例へば目下日英東京會談が續行されてゐるが之が前途については全く凡人の端倪を許さざるものがあり、又最近には日米通商條約の一方的廢棄等々色々な問題が次から次へと突發するといふ有様で何もかも全く見透しが困難な時代である。こうした時代にありては吾等經濟人は常に國策に順應したる確固不動の方針の下に行動をせねばならぬ。我鐵鋼界も日本鋼材販賣株式會社が愈々積極的に業務開始の運びとなつたので生産配給兩者が一心同體、一致協力して斯界の統制に盡瘁せねばならぬことは我等鐵鋼人の義務であることをこの際強調し度い。

細丸殊に6mm及び8mmは最近伸鐵材料難のため殆んど賣出は中止された態といはれ従つて商内は出来ない模様である。12mmは共販物、伸鐵物共に出廻りが極度に不圓滑といはれ目下市中ストックは皆無の状態である。16mm及び19mmは出廻りは弗々程度にて品不足の市場には全く燒石に水の有様といはれてゐる。22mm、25mm、28mm及び32mm等のベース物は荷動きは比較的緩慢なるためさして不足は感じないやうである。而して乍ら市中ストックは相變らず拂底してゐるやうである。36mm以上の小中丸は材料關係で出廻り皆無のため市中は品切れ状態といはれてゐる。只當社大阪製鐵より、近々積出されるとの報にこの所ホット一息の態といはれてゐる。50mm、55mm、65mm、70mm及び75mm等は少量乍ら大阪製鋼、富永鋼業及び東海鋼業等より積出される一方中間鋼も相當出廻るので、市場はストックも可成りある模様である。80mmは需給の状態は比較的順調である。反之85mm及び95mmは市中ストックは拂底してゐる。90mm及び100mmは最近日本鋼管より弗々積出されるので不足は感じない様子である。太丸は當社八幡及び日本鋼管より發生品が可成り積出されると一方鍛造品が出廻るので不足は感じないやうである。200mmは出廻り不圓滑なるため火造品で間に合はしてゐるやうである。

角、平鋼 小形角鋼は伸鐵品の賣出しなき所へ共販よりの積出至極不圓滑なるため市中ストックは皆無といはれてゐる。16mm、19mm及び22mm等は昨今では殆んど積出しがないやうである。従つて商内らしい商内は出来ないやうである。25-75mmの所謂Bサイズは伸鐵でどうか間に合はせてゐるやうである。90mm及び100mmは出廻り皆無のため鍛造品で間に合はせてゐる。

平鋼は大和製鋼よりの賣出しが最近少なくなつた所へ伸鐵品の賣出しが皆無のため昨今では商内は殆んど出来てゐないやうである。

形鋼 小形アングルAクラスは市中ストックは皆無であるが伸鐵品の出廻りが弗々あるのでどうか間に合ふやうである。Bサイズは伸鐵品が少し宛積出される所へ3×30及び3×40等は東海鋼業より多少宛積出しがあるやうであるが市中にはストックはないやうである。Cクラスは當社八幡サイズ4×45を除く外は一般にストックは豊富にあるやうである。中形等邊アングルは不相變市中ストックは皆無といはれてゐる。出廻りもほんの僅か宛といはれてゐる。中形不等邊アングルは荷動きは捗々しからざるも積出も少いので市中ストックは漸減の態といはれてゐる。大形アングルは等邊不等邊共に市中ストックは可成りあるやうである。當社八幡、鋼管及び尼鋼より發生品が可成り入荷するが、その割には賣行は不振といはれてゐる。チャンネルは200mm迄の鋼管及び尼鋼のものが弗々積出されてゐる程度にて當社品は皆無といはれてゐる。ジョイスト

なし。

鋼板 16×3×6は弗々積出されてゐるが燒石に水程度といはれてゐる。4×8は最近當社品の積遅れが可成り入荷したやうで、従つて市場はホット一息の態といはれてゐる。5×10は當社品の入荷弗々あり従つて市中の品薄は幾分緩和された觀あり。2.3mmは各サイズ共積遅れ品が弗々出廻る程度にて従つて市中ストックは殆んどないやうである。3.2mmは各サイズ共極端なる品掠れといはれ割當切符は可成り多數に出てゐるが商内は一向出来ない様子である。4.5mmも亦出廻り不圓滑にて市中ストックは殆んど皆無の状態といはれてゐる。6mmは3×6が弗々積出される外は概して出廻り不順調といはれ、市中ストックは拂底してゐる。8mm以上の厚板は共販よりの積出不圓滑なる爲め辛うじて、シャーより手當してゐる有様といはれてゐる。

線材 相變らず出廻りは不圓滑である。即ち當社品は弗々程度、中山よりは一向に積出しがないやうである。神戸も夏期の自然減産其他の事情のため積出しは極度に不順調といはれてゐる。小倉は先づ順調なる積出しがあるやうである。製品界も材料關係其他曇りのための自然減産もあるので大口商内は出来ないやうである。

ブリキ 出廻り不圓滑の所へ市中ストックは相も變らず少い。従つて相場は公定價格に鞆寄せてゐる。ローモ板は極度の拂底振りである。積出しも少い。要するに各問屋共目下開店休業の状態といはれてゐる。

東西市況(8月中)

市場は又しても劃期的の變革に遭遇した。

即ち、日本鋼材販賣會社の取扱ふ品種の建付け、中間配給業者の口錢及び置場積込費に至るまでの諸掛込み需要家渡値段とし、之を發表して據る處を明にし、市中値段に聊も曇りを留めしめぬと云ふのが最近の指導精神で、總てが其の實施を期して整備されつゝあつたのであるが、愈々8月1日から市場品の大部分を占める棒、形、3mm以上鋼板が此の原則に支配されて取引される事となつたのであるから、凡そ從來の形式と異り、從來の觀念を以て律する事が出来なくなつて、市場は正に大變貌を來したのである。

尤も伸鐵品の具體的詳細に亘つての取扱方法が未決で、之れが8月中は從來通りに商内されるので、市中値段が全く1本となつてをらぬと云ふ事は有るが、之れも9月からは何れも角販賣會社發價值段に據つて取扱はれる事になつてゐるので、材料難と相俟つて伸鐵の新規賣出しは引續き見られずして品切れ状態であり、旁々値段の自然下りが目前に迫つてゐるので手當控も有つて、事實上伸鐵との2本建が解消された事ともなつてゐて、變貌は實質的に既に成就してゐるのである。

昨年6月から7月に懸けて、日鋼聯統轄下に於て値段規定が強化され、續いて鐵鋼配給統制規則が出現して變貌せしめられた市場は今又煙草の如く純然たる公定値段制に依つて支配される事となつて愈々行くべき處に達したのである。

此の形式と方針は漸次鋼材全品種に推し進められるのであらうから、鋼材全般が完全統制に入るのも近い事で、それも去る事ながら市場抜の大部分にして重要地位を占める品種が既に統制されたのであるから、所謂市場は一步を先んじて、値段は建値の如何に依つて運命的に左右され、値段關係に於ては市況なるものは影を消す事となつたのである。

由つて今後は當局の求むる處に沿ふて建値され、それが直ちに市價となるのであるから、若し求められる處が低價格であるならば、市價も亦それに沿ふて變化せしめられるのは言ふを俟たず、事實今

までは何れも兎も角先づ低価格を目標として進まれ、對物價の國策が根本的に變化を來したと云ふ事は聞いてをらぬので、今は之れを體して善處するのであるが、若し歐洲戰爭の進展に伴つて對物價策が變更されたならば、其の時は建値が訂正され、自動的に市價が訂正され、定められた範圍に於て從屬的に行動せねばならないのである。要するに好むと好まざるに不拘、定められたる所に從つて行動するのである。例へば公定値段に從ひ、需要を切詰めて表現したる切符に制され、計畫的に分與されたる品種數量に據つて配給層としての使命を果す時となつたのである。

從て歐洲戰爭の勃發に起因して低價格方針が何處へ行くか渾沌としてはあるが、何れにしても根本的に觀念を改め、常に國策と共に在らねばならぬと云ふ事を冷靜に深く諦念すると同時に賢明に見極めて臨むべきであらう。

斯くて今月は正に劃期ではあつたが、市場は充分鍛鍊されてゐるので、少しも動搖なく、至極平穩、順調に移行が成つて、夫々應分の値下りを持して過りが無かつたやうである。但入荷極減と切符の新規出廻りがそれ程多くない事と、無理強ひに賣買を望まぬ事とが相俟て多少低調を示したやうではある。

東 京 市 況

丸 鋼 伸鐵品と共販會社との關係は何うなるか、伸鐵品が何う取扱はれるか、共販會社の下に於て統制されるのは既定の事實として、具體的詳細に亙つては目下折衝中なので、材料難で製作不如意と云ふ事も去りながら、決定待ちとならざるを得ずして、賣出は中絶の儘である。尙ほ事情の如何に關せず9月からは共販値段で取引する事となつてゐて、値下りが確定的なもので餘程の必要に迫られなければ西路の補足配給に俟たんとせず、買控へ氣配も窺はれるので、供給は全く杜絶へて、伸鐵品は品切状態である。從て伸鐵の入荷に俟つ 6mm, 7.5mm は品切にして且つ賣買が控へられ、茲許開店休業の態である。ロッドのミスロール物が手に入るとか入らぬとか言はれる場合も有るらしいが、之れは少量に過ぎ、特別に過ぎるので問題外である。若し残り物が有れば、6mm 29圓見當、7.5mm 26圓捌の筈である。

9mm, 12mm は日鐵の舊約品が弗々ながら入荷するやうである。伸鐵も、之れは比較的作る工場が多く、以前に契約されてゐた物が残てゐるので、極く弗々ながら出廻るやうである。賣行は、ベースが無いので、之れのみでは仕事にならぬ關係上稍々立往生の觀は有るが、それにしても切符が甚數く多いので、入荷は賣行の善惡を超越して右から左に消化されて残らず。値段は共販物は規定に依り、9mm 21圓 60錢、12mm 20圓 60錢、伸鐵物は不變の 24圓 1, 20錢見當と未だ2本唱を許されてゐる。

ベース丸は6,7月と2回續いて賣出しが無く、而も舊約品の積出しが不圓滑である一方、切符は山積してゐるので、氣分の上からも實際に於ても、不足觀を煽られる事は激しい。需要は小止み無く出て來るが、新規注文に應ずる勇氣無く、大體問屋は注文に對して善意の逃げ腰である。8月には共販會社の賣出しが有り、今後も續いて賣出されるであらうから、現在の如く動きの取れぬ状態は幾分緩和されるであらうが、所詮満足なる供給は望まれず旁々老大なる待機需要に迫られて、窮窟は續くものと見られてゐる。値段は規定の 18圓 60錢の筈である。

36-48 は賣出量が少く、申込も少かつたので品拂底ではあるが、之れは入用も亦少いので聊か投げ遣り氣味で、沈滞とでも言ふか。値段は 19圓 60錢である。

中丸は 55, 60, 70, 80, 95 等は品切状態であるが、其他は鋼管、

東海、宮等から弗々ながら舊約品の入荷を見る一方是非となれば中間鋼が無くもないので、比較的には受注が出来るやうである。然し不足なるは言ふ迄もなく、切符は相當に残つてゐる。値段は 50-85mm 21圓 10錢、90, 95 22圓 10錢、100mm 24圓 10錢である。

太丸は日鐵及鋼管の舊約品が弗々入荷する一方8月に共販會社を通じて 10, 11 月積緊急向として鋼管物が賣出されたので、急需には弗々應へてゐるやうである。軍需は相當多く、品物が有れば忽ち消化されて残るやうなこと無いが、需要が大衆的ではなく、旁々必要欠くべからざる入用には直送が向くので、餘り慌てた模様は無い。160mm以上は鍛造も材料難で望み無く、供給皆無である。値段は、8月からは共販會社から賣出される事となつたので、規定通り實需家渡値段建である。150mm まで 25圓 60錢、150mm 超 200mm まで 27圓 60錢となつてゐる。

角、平鋼 角鋼 6mm, 7.5mm, 9mm は以前に入荷した大伸物が全く残つてをらぬと云ふ事もあるまいが、假令残つてゐるとしても御話にならぬ數であらう。最近既述の如く伸鐵の賣出無く、補足に手を染める向も無いので、伸鐵に依存する細角は品切であるとしてよい。一方手當を諦める氣分と入用狭少と相俟つて今では關心外放置が一層進んだやうである。値段は品物が有れば不變である。16-32mm は日鐵から舊約品を多少入手出来る向も有るやうであるが、切符が少いと云へ、潤れ切つてゐるので、小口に分け取られてしまふやうである。値段は大伸物が残つてをれば、それは 27, 8圓であるが、今はそれが無いと見て差支へ無い實狀なので、之れを除外し、共販物の値段のみを探る事とした。即ち 20圓 10錢である。36-48 は品切である。規定値段は 21圓 10錢である。

50mm以上は 50, 65, 75 は宮から普通物と SR39 とが入荷の豫定であり、日鐵發生品も極少は豫定される一方聊かなりとも入手出来ればそれで我慢する氣分も培はれてゐるし、事實入用も少いので何うやら御茶を濁してゐるやうである。太角は品切。値段は 50-80 22圓 10錢、90, 100 24圓 10錢、100超-150 25圓 60錢と規定されてゐる。角鋼は供給極減で、先行にも當分望み無しと見られ、拱手傍觀されてゐる。

平鋼 3mm 厚は伸鐵の賣出しが止り、東京シャーから 1, 2 軒に向けられてゐる臨時も中絶で、茲許品切状態である。3×16 が僅に残つてをると言はれてゐるが、之れも勿論極く少量が偏在してゐるに過ぎないので、フープを代用出来る仕事が僅にそれに依て動いてゐるのみである。値段は不變。

小形平は釜石、富士から舊約品が弗々來ぬ事は無いが、元々賣出が少かつたので、來ても少量であるし、兎角積遅れ勝ちでもある一方大口切符は無いが、需要が小口ながら廣範圍に及んでゐるので、入荷は燒石に水で、依然として入用に追はれ、極端なる品拂底を續けてゐる。據所無い場合は鋼板を切つて代用するやうである。但し、刃物用は何うやら間に合つてゐるやうである。値段は 20圓 10錢である。

75mm 幅以上は、大伸物が多少残てゐる模様であるが、極少であり、新規に補足配給に手を着ける向も無いので、頼みの綱の大伸物も大體品切に近くなつた。然し、未だ現品とはならぬが、東京シャーが8月に多少引受け旁々切符も多くないので、需給状態が稍々樂觀されてゐる。値段は、伸鐵物も9月からは値下げとなるので、必然的に手近に有る物で間に合はせる事となるであらうから、補足配給を目標とする高値物は自然減となり、大體 27圓前後を唱へられると見られてゐる。共販値段は 21圓 10錢であるが現品無く、此値段無し。

形鋼 小山形A級は大伸物も遂に全く姿を消し、新規補足も望み無く、共販の賣出も中絶の儘、従つて値段として記すに由無きも來月からは若し品物が出れば、共般値段に統一されるので、それを参考までに誌す事とする。即ち小山A級22圓10錢である。切符は多くないやうである。B級も大伸物は皆無となつた模様である。日鐵及東海物の舊約が弗々入荷するやうである。3×25は賣出しが無いので品切であるが、(3×3), (3×4)で不足勝ちながら小口は賄つてゐるやうである。

尙ほ纏つた入用は支給材が向くかして最近入用は一頃より減少してゐるやうである。値段は21圓10錢である。C級は多少残てゐた處へ釜石から弗々入るので、昨今としては不自由の無い部類である。4×45は軍需の切符引當てに受けられる場合があるらしいが、店賣は皆無である。入用は少い。値段は19圓60錢である。

中山形等邊は6×65, 9×75等が入荷したらしいが勿論直ちに消化されて残らず極端なる品拂底である。各メーカーが特殊需要に能力を奪はれて市場向は其の餘りが来るか來ぬかの程度で、緊急引合も受けられず、供給は杜絶状態で、昨今最も需給の不均衡を叩かれてゐる。尙ほ8月に共販から賣出されたが、指定問屋の店賣用が無く、切符引當の緊急引合向なので、山積してゐる切符の一部に當てられて、大部分の切符は取り残される始末である。當分は最も困るであらうと信はれてゐる。値段は4×50, 20圓60錢, 6×50, 8×50^U 20圓10錢, 其他19圓10錢である。中山不等邊は等邊程入用が多くないので、騒がれる事はないが、等邊の代用に消化され、賣出しが無く、發生品が稀に見える位ひなので在庫は減る一方で、各店の手持は品切に近い。宮の50×75, 鋼管の13×75×100が極く少量有るのみである。値段は20圓10錢。

大山形は代用に使はれず、これを使用するやうな建築が無く、入用が少いので、在庫が未消化の儘残てゐる上に發生品も入荷するので、依然として最も供給力有りと言はれてゐる。値段は20圓90錢, 其他の大山等邊20圓10錢, 不等邊20圓60錢である。

溝形は月初頃には40×75, 50×100, 65×125が多少有るが現在は此邊の物も無くなり全般的に品切である。然し、日鐵發生品が御預けの態であるが、陸揚げされて置いてあるし、鋼管物も納期が有れば、手當てが不可能でもなく、旁々少いのを見越して仕事の豫定が組まれるので、比較的我慢されてゐるやうである。工形も現在は75×125が多少有るのみで、拂底を極めてゐるが、大體溝形と同様の氣配である。値段は溝、工共にベースは21圓10錢である。

鋼板 16mm×3×6は一頃可成り餘てゐたので、申込みを割愛し、一方代用される等の事が有て、兩々相俟ち漸減を辿りつた處へ、最近薄板方面が軍需に追はれて餘力が無く、従て16×3×6の供給が頓に減じたので、昨今は以前とは逆に、これが品拂底を告げるに至つた。連れて近頃では未消化切符が大分残るやうである。と云ふ工合なので近頃は却て4×8が比較上窮屈が緩和されてゐるやうに思はれてゐる。即ち日鐵、川崎物共に出廻り良く一頃の拂底が身に浸みてゐるので、それを思ふと文句は言へぬと云ふのである。然し5×10は徳山が來ず、依然として品拂底で各方面共諦め商狀である。23は3×6, 4×8が川崎と日鐵物が弗々出廻るので小口入用は不如意勝ちながら何うやら片附くやうである。5×10は引受は残てゐるが積出し無く、拂底依然。要するに薄板の軍需旺盛に影響されて、一言にして表せば、1, 6, 2, 3店賣減退、拂底稍々顯著とでも言ふべきか。

3, 2, 4, 5, 6は毎月總量約4,000tが賣出されてゐるので、少量とは云へ、入荷が絶へる事無く、最近では入荷率が良い方で、鋼板が

特に窮屈とは云へなくなつた。即ち7月まで緊急物の引受け順調、8月には賣出しが有り、旁々4.5mmと6mmにはシャーの供給も加はる一方最近では入用が踵を接して出ると云ふ状態でもないので、今では一頃と比較して大分困る程度は軽いやうである。8mm以上は定尺を要せぬと云ふ聲が旺であるが、シャーに注文して望む格恰に切らせる需要家と同數以上に定尺を買つて自家に於て所望の寸法に切斷する向が有り、従つて定尺も亦外注の遺物と云ふ以外に存在價值が有ると言はれてゐる。然しながら大勢は定尺不要に傾いてゐるので、其の點から市場は虐待氣味で、定尺當然の賣出しは無く市場から見限り悲觀状態に置かれてゐる。然し、シャーに耳附が出され、それから廻してもらふ事になつてゐて而してシャーが比較的廻して呉れるので、大體入用控の傾向と相俟つて、不足勝ちながら大して不見由無く賄てをられるやうである。

鋼板の値段は別表相場表の通り。

大阪市況(8月中)

丸鋼 獨ソ不可侵條約の締結によつて我帝國は自主獨往ときまつた。苦勞はして見るものである。阿部内閣もこの點を考慮の上確固不動の政策を樹立されるものと思はれる。ところで自主獨往の内容は何かといふと、御自由に振舞ふといふことに盡きる。殊に昨今の國際關係に於ては自主獨往は必須條件であるかの如くみられる即ち道義やイデオロギーの價値は甚だ薄く、利害得失は重大なる動力となる。もとより東洋の君子國を以て任ずるわが國は道義を重んじて、決してその品位を墜すべきではない。然し術策を弄するものに對してはおのづからその態度がなければならぬ。隨て自ら持すること篤く自ら尊ぶこと深かるべきである。自主獨往はしばしば唱へられたところであるが、今こそ眞にこれに還るべき時である。自主獨往はもとより孤獨ではない。弧影孳然では自主獨往は出來ない他と提携するは大いによい。たゞその提携たるや他に隨喜するものでなくて、他をして歸依せしめ、他に動かされるものでなくて、他を操縱する底のものでなくてはならぬ。牛溲馬勃も自家藥籠中のものとするを得るならば、來るものを拒む必要はない。つまり世界の變局に處するに他國に東縛されることなく全く自由を以て振舞ふ所に自主獨往の眞の意義があり價値がある理である。我鐵鋼界も近東市場は勿論南洋方面の市場を確保する爲めにはどうしてもかうした考へがなくてはならぬと思ふ。

9mmは材料關係から各社共製作せざる所へ伸鐵も材料皆無のため市場は文字通りの拂底を示してゐる。8mmも亦前者と同様の状態にて従て品切れ状態といはれてゐる。

9mm及び12mmは伸鐵品は皆無であるが共販のものが弗々積出されてゐるやうである。16-19mmのベース物は市中ストックは皆無といはれ少量乍ら積出されてゐるが全く焼け石に水の有様といはれてゐる。22-28mmは荷動きが幾分鈍いので市中ストックは多少あるやうである。32mmは品切れ状態といはれてゐる。最近は中間鋼も目立て少くなつたやうである。

小中丸は概して極端なる品拂底を示してゐる。中丸は定尺は品切れ状態といはれてゐるが短尺物が弗々積出されてゐるやうである。中丸の中間鋼のものは50-60mmの品切を除く外は多少ストックがあるやうである。65-90mmは半軟鋼が可成りある様子である。

太丸は短尺其他の發生品等が弗々入荷する程度といはれてゐる。

角、平鋼 小形角鋼は9mm及び16mmが多少ストックがあるやうである。勿論これは荷動きが捗々しからざる爲といはれてゐる。其他のものは極度の拂底を傳へられてゐる。中形角鋼及び大形角鋼は市中ストックは皆無の所へ積出も弗々程度であるので商内らしい

商内は出来ないやうである。

平鋼Aサイズは伸鐵品の材料難にて出廻り不如意のため市中は品切れ状態といはれてゐる。

Bサイズは6×50及び6×65が品切れの外は概して弗々入荷するので小口商内でお茶を濁してゐるやうである。

形鋼 小形アングルAクラス3×20は目下材料難の關係から各社共製作せざるため目下市場では品切れ状態といはれてゐる。

Bクラス3×25, 3×30及び3×40は伸鐵品が多少ストックがあるやうであるが、共販よりの積出しはまことに不圓滑を極めてゐるやうである。Cクラスは概して賣行不良のため可成りストックがある模様である。殊に5×40はストック豊富といはれてゐる。

4×35×50は賣行捗々しからざるため市中ストックは多少あるやうである。

中形等邊アングルは弗々積出されてゐるやうであるが何分にも市中にはストック皆無であるので、全く焼石に水の有様といはれてゐる。中形不等邊アングルは75×100, 75×125及び90×125等が賣行不良のため相當ストックがある外は概して品掠れといはれてゐる。

大形等邊アングルは一般に荷動きは不活潑といはれ、従てストックは可成り多いやうである。殊に130mm及び150mmは相當在庫がある様子である。荷動きは相も變らず不良である。不等邊大形アングル90×150及び100×150は可成りストックが多いやうであ

る。之も亦出足は鈍いやうである。

チャンネル75×180及び80×200は可成り在庫があるやうであるが他の寸法は殆んどないやうである。ジョイストは概して品拂底である。

鋼板 1.6mm×3×6及び4×8は荷動き弗々あり旁々多少宛の入荷があるので市中ストックは幾分ある様子である。5×10は皆無の状態といはれてゐる。2.3×3×6は多少ストックがあるやうであるが4×8及び5×10は皆無といはれてゐる。

3.2mm及び4.5mmは各サイズ共目下品切れ状態といはれてゐる。8mm以上の厚板は11mm及び13mm等の中間寸法物が相當ストックがある外は概して品拂底の有様といはれてゐる。

線材 前月と大差なき商況を辿てゐる。何等特筆すべき材料はないが相も變らず神戸製鋼及び中山製鋼の積出しは殆んど皆無の状態といはれ、他社よりも出廻りは不圓滑といはれてゐる。當社品は弗々積出されてゐるが品拂底の市場は大してゐるほはぬやうである。

ブリキ 1, 2級定尺の出廻りは不圓滑といはれてゐる。殊に石油罐用のものが殆んど出廻らないやうである。3, 4級品は比較的スムーズに入荷があるやうである。當社品其他淀川のもの等は特に積遅れが甚だしいといはれてゐる。商況としては前月來釘付状態といはれてゐる。

東京大阪市中相場

| 東京 } 7月28日 | | | | 大阪 } 7月28日 | | | | 東京 } 8月28日 | | | | 大阪 } 8月28日 | | | |
|------------------|---------------|-------|-------------|------------|------------|-------|-------|--------------------|-------|-------------|--------|------------|--------|--------|--|
| 丸 鋼 | | | | | | | | 不等邊山形鋼 | | | | | | | |
| 6mm | 東京 | 大阪 | 東京 | 大阪 | mm mm mm | 東京 | 大阪 | 東京 | 大阪 | mm mm mm | 東京 | 大阪 | 東京 | 大阪 | |
| 9 | 28'00~29'00 | 22'00 | 29'00 | 22'00 | 9×50×75 | 20'40 | 20'45 | 20'10 | 20'45 | 5×50×100 | 22'60 | 22'55 | 22'10 | 22'55 | |
| 12 | 22'00~24'20 | " | 21'60~24'20 | " | 10×75×100 | " | " | " | " | 6×65×125 | 21'50 | 21'50 | 21'10 | 21'50 | |
| 19 | 21'00~24'10 | 21'00 | 21'60~24'10 | 21'00 | 10×90×125 | " | " | " | " | 6.5×75×150 | " | " | " | " | |
| 25 | 18'90 | 18'85 | 18'60 | 18'85 | 9×100×150 | 21'00 | 21'00 | 20'60 | 20'60 | 7.5×80×200 | " | " | " | 21'10 | |
| 50 | " | " | " | " | 12×100×150 | " | " | " | " | 9×90×250 | " | " | " | " | |
| 65 | 21'10 伸 | 27'30 | 21'10 伸 | 27'00 | mm mm mm | 22'60 | 22'55 | 22'10 | 22'55 | 10×90×300 | " | " | " | " | |
| 130 | " | " | " | " | 5×50×100 | 21'50 | 21'50 | 21'10 | 21'50 | 5.5×75×150 | 21'50 | 21'50 | 21'10 | 21'50 | |
| 150 | 26'20 | — | 25'60 | — | 6×65×125 | " | " | " | " | 7×100×200 | " | " | " | " | |
| 200 | " | — | " | " | 6.5×75×150 | " | " | " | " | 8×150×300 | " | " | " | " | |
| | 28'40 | — | 27'60 | — | 7.5×80×200 | " | " | " | " | 12×150×350 | " | " | " | " | |
| 角 鋼 | | | | | | | | 工 形 鋼 | | | | | | | |
| 9mm | 東京 | 大阪 | 東京 | 大阪 | mm mm mm | 21'50 | 21'50 | 21'10 | 21'50 | 1.6mm×3'×6' | 26'20 | 26'25 | 26'20 | 26'25 | |
| 12 | 26'20~27'50 伸 | 26'25 | 26'20 | — | 5.5×75×150 | " | " | " | " | 1.6×4×8 | 27'30 | 27'30 | 27'30 | 27'30 | |
| 16 | 28'00 | 26'80 | 28'00 | — | 7×100×200 | " | " | " | " | 1.6×5×10 | 28'40 | — | 28'40 | — | |
| 19 | 20'40~27'00 | 20'45 | 20'10 伸 | 20'50 | 10×125×250 | " | " | " | " | 2.3×3×6 | 25'70 | 25'70 | 25'70 | 25'70 | |
| 38 | " | " | " | 26'10 | 8×150×300 | " | " | " | " | 2.3×4×8 | 26'80 | 26'80 | 26'80 | 26'80 | |
| 50 | 21'50~28'00 伸 | 26'80 | 21'10 | 26'50 | 12×150×350 | " | " | " | " | 2.3×5×10 | 27'80 | — | 27'80 | — | |
| 65 | 22'60~28'00 | " | 22'10 伸 | " | 鋼 板 | | | | | 3.2×3×6 | 25'20 | 25'20 | 24'50 | 25'20 | |
| 100 | 22'60~29'00 | " | " | 27'50 | 1.6×4×8 | 27'30 | 27'30 | 27'30 | 27'30 | 3.2×4×8 | 26'20 | 26'25 | 25'50 | 26'25 | |
| | 24'70 | — | 24'10 | — | 1.6×5×10 | 28'40 | — | 28'40 | — | 3.2×5×10 | 27'30 | 27'30 | 26'50 | 27'30 | |
| 平 鋼 | | | | | | | | 薄 鋼 板 (13枚) | | | | | | | |
| 3mm×25mm | 東京 | 大阪 | 東京 | 大阪 | 川 | 1'03 | 1'02 | 1'03 | 1'02 | 8 | " | " | " | 1'02 | |
| 9×19 | 26'20 伸 | 26'25 | 26'20 伸 | 26'30 | 崎 | " | 1'02 | " | " | 橋 | " | " | " | " | |
| 6×25 | 20'40 | " | 20'10 | " | フ | | | | | リ | | | | | |
| 6×38 | " | " | " | " | 米 | — | — | — | — | キ | | | | | |
| 6×50 | " | 20'45 | " | 20'50 | { 170lbs | — | — | — | — | | | | | | |
| 6×75 | 26'80~27'60 伸 | 25'50 | 27'00 伸 | 25'50 | { 170 | — | — | — | — | | | | | | |
| 9×100 | " | " | " | " | { 200 | — | — | — | — | | | | | | |
| 12×100 | " | " | " | " | 英 | — | — | — | — | | | | | | |
| 等 邊 山 形 鋼 | | | | | | | | 線 材 | | | | | | | |
| 3mm mm mm | 東京 | 大阪 | 東京 | 大阪 | 八 | 38'00 | 38'50 | 38'28 | 38'80 | B. W. G. #5 | 190'00 | 193'00 | 190'00 | 192'00 | |
| 3×20×20 | 31'50 伸 | 30'50 | 22'10 伸 | 30'15 | 米 | — | — | — | — | | | | | | |
| 3×25×25 | 30'00 | 28'35 | 21'10 | 28'05 | { 170 | — | — | — | — | | | | | | |
| 5×40×40 | 19'90 | 19'90 | 19'60 | 19'60 | { 200 | — | — | — | — | | | | | | |
| 6×45×45 | " | " | " | " | 英 | — | — | — | — | | | | | | |
| 6×50×50 | 20'40 | 20'45 | 20'10 | 20'45 | { 170 | 38'00 | 38'50 | 38'28 | 38'80 | | | | | | |
| 6×65×65 | 19'40 | 19'40 | 19'10 | 19'40 | { 200 | 39'50 | 40'00 | 39'86 | 40'00 | | | | | | |
| 9×75×75 | " | " | " | " | 八 | — | — | — | — | | | | | | |
| 9×130×130 | 20'40 | 20'45 | 20'10 | 20'10 | 橋 | — | — | — | — | | | | | | |
| 12×130×130 | " | " | " | " | W. W 200 | — | — | — | — | | | | | | |
| 15×150×150 | " | " | " | " | | | | | | | | | | | |

備考 單位 100kg につき (置場値段), 但し薄板は1枚當り, 線材はt當り, ブリキは1函當り。